Technics®



DVD オーディオ／ビデオプレーヤー
取扱説明書

品番 DVD-A10

上手に使って上手に節電

保証書別添付

DVD AUDIO/VIDEO™

COMPACT disc DIGITAL VIDEO

このたびは、DVD オーディオ／ビデオプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号（製品本体後面に表示）は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の番号を照合してください。

VQT8357

本機の特長

高音質を実現

192 kHz/24 bit オーディオ D／A コンバーターを搭載し、DVD のハイクオリティ・サウンドを忠実に再現します。また、電源からのノイズに強いバーチャル・バッテリー・オペレーション電源回路を始め、高音質のためのさまざまな技術を盛り込みました。

高画質を実現

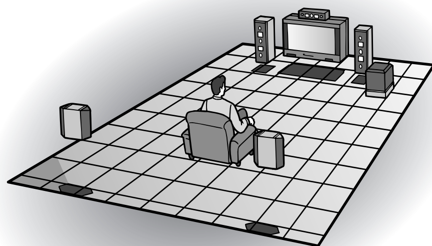
10 bit ビデオ D／A コンバーターやコンポーネント映像出力端子を装備し、プロ仕様の高級モニターにも耐えられる鮮明な画質を実現します。さらに、画質調整機能を使って映画館のような映像イメージ（シネマ画質）などを楽しむこともできます。

多彩な便利機能

音声や字幕の言語を選んだり、1 つの場面をいくつかの視点で見るなど、DVD にはさまざまな機能があります。本機はそれらに対応した上で、さらに多彩な便利機能を備えています。

お部屋を映画館に

ドルビーデジタル／dts デコーダーを内蔵していますので、本格的なホームシアターシステムを実現することが可能です。



本機で再生できるリージョン番号

リージョン番号とは、発売地域ごとに DVD-Video とプレーヤーに割り当てられた番号です。
本機のリージョン番号は 2 です。
本機は、**「2」**（または 2 を含むもの）と、**「ALL」**が表示されたディスクの再生が可能です。







など

もくじ

基本の再生

アンプやスピーカーを使ってシステムアップする

お電話の前に一度ご確認を…

準備
使いかた
ご参照

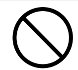
安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

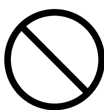
	このような絵表示は、気をつけていただきたい、「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



電源コード

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］



- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

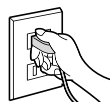


ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

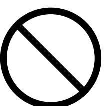
電源プラグは根元まで確実に差し込む

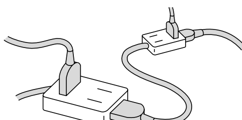




- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない





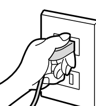
- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

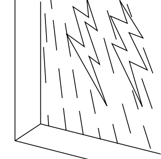
雷

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない



接触禁止

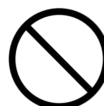




- 感電の恐れがあります。

使用方法

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造したりしない



分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

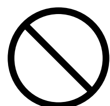
機器は正しく設置する

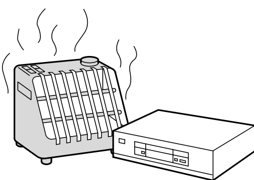


- 不安定な場所に置かない
- 上に大きなもの重いものを載せない
- スピーカーを壁や天井に取りつけない

- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

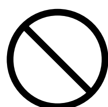
異常に温度が高くなるところに置かない





- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

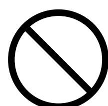
油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

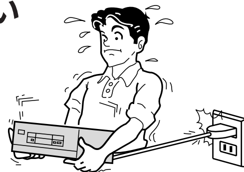


- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

使用方法

コードを接続した状態で移動しない





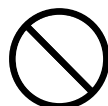
- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ディスク 挿入口の奥には手を入れない



- 閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

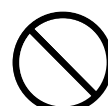
乾電池

電池は正しく取り扱う



- ＋と－は正しく入れる
- 長期間使用しないときは、取り出しておく

電池は誤った使いかたをしない



- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「Dolby」、「Pro Logic」及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。
著作権 1992 － 1999 年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

この製品は米国 DTS 社からの実施権に基づき製造されています。「DTS」および「DTS デジタルサラウンド」は DTS 社の商標です。
著作権 1996 年 DTS 社。不許複製。

本機で再生できるディスク

再生できるディスク

お手持ちのディスクの種類が分かりにくい場合は、ロゴマークを目安にしてください。

ロゴマーク	ディスク名称	ディスクの大きさ	映像方式	リージョン番号
DVD AUDIO	DVD オーディオ	12 cm 及び 8 cm	NTSC 及び *PAL	
DVD VIDEO / DVD VIDEO	DVD ビデオ	12 cm 及び 8 cm	NTSC	2 及び ALL
COMPACT disc DIGITAL VIDEO	ビデオ CD	12 cm 及び 8 cm	NTSC	
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音楽 CD	12 cm 及び 8 cm		

* 音声のみ再生可能

再生できないディスク

- **CD-R、フォト CD**
- **リージョン番号が 2、ALL 以外の DVD ビデオ**
- PAL 方式のディスク（DVD オーディオは音声のみ再生可能）
- その他（上記の一覧表のロゴマークがないもの）
  SACD　DVD-ROM　DVD-R/DVD-RAM　CD-ROM
  VSD　CDV　CD-G　CD-RW　DVD＋RW　CVD　SVCD
  など

お願い

CD-R、フォト CD は絶対に再生しないでください。ディスクの中身が壊れる恐れがあります。

その他の記号について

DVD のケースには、左記以外にもさまざまな記号が表示されています。
以下に代表的な記号と意味を記しておきますので、参考にしてください。

● 画面サイズ

4：3　4:3 の標準テレビサイズ。

16：9 LB　ワイドテレビでは 16:9 のワイドサイズに、標準テレビでは上下に黒い帯のある画面になります。

16：9 PS　ワイドテレビでは 16:9 のワイドサイズに、標準テレビでは左右をカットした 4:3 になります。

● 字幕の言語

2　1：日本語字幕 2：英語字幕

字幕の言語が選べます。（図の場合は 2 言語）

● アングル

3

1 つの場面をさまざまな視点や角度で見られるマルチアングル付きであることを示しています。（図の場合は 3 アングル）

● 音声トラック（音声言語や信号タイプ）

2　音声1：オリジナル<英語>（5.1 ch サラウンド）音声2：日本語（ステレオ）

収録されている音声トラック数を表わしており、好みで切り換えることができます。（図の場合は 2 音声）

本書で使用しているディスク記号について

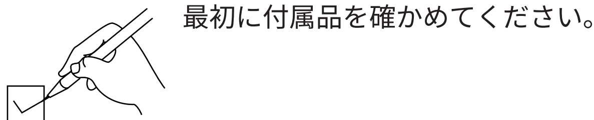
ディスクの種類（DVD オーディオや CD など）によって、使える機能が異なります。
本書では以下の記号を用いて、その説明箇所に当てはまるディスクを表わしています。



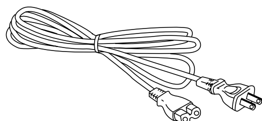
（例）
以下の場合は、DVD オーディオと DVD ビデオでのみ操作できます。

DVD-A DVD-V VCD CD

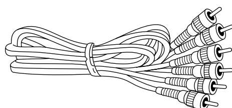
付属品



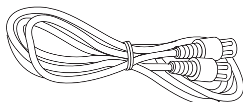
- ☐ 電源コード（VJA1072）. . . . . 1 本



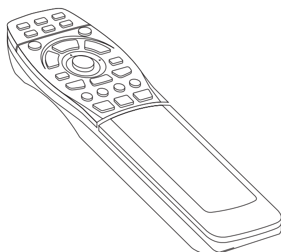
- ☐ 映像音声コード（VJA1062）. . . . . 1 本



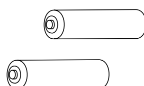
- ☐ S 映像コード（VJA0658）. . . . . 1 本



- ☐ リモコン（VEQ2361）. . . . . 1 コ



- ☐ リモコン用乾電池 . . . . 2 コ



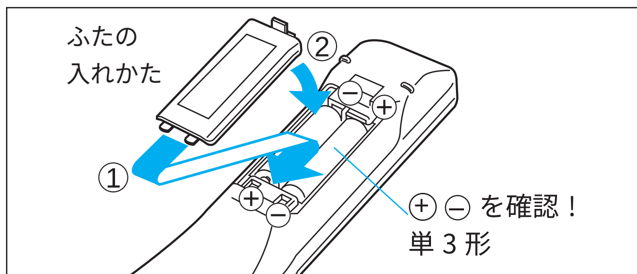
付属品の買い替えは、お買上げの販売店にご相談ください。かっこ内は買い替え時の品番です。

お願い

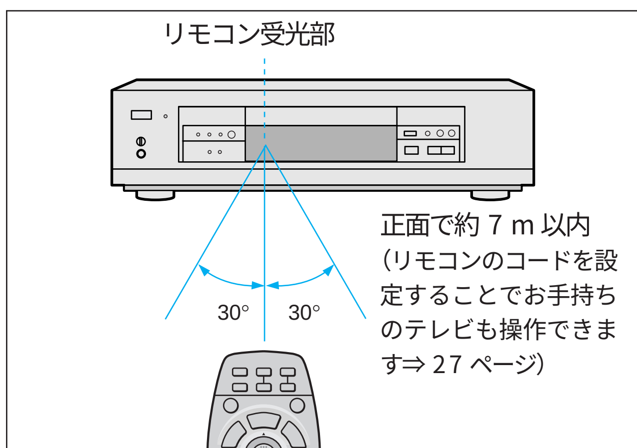
付属の電源コードは本機専用です。他の機器には使用しないでください。

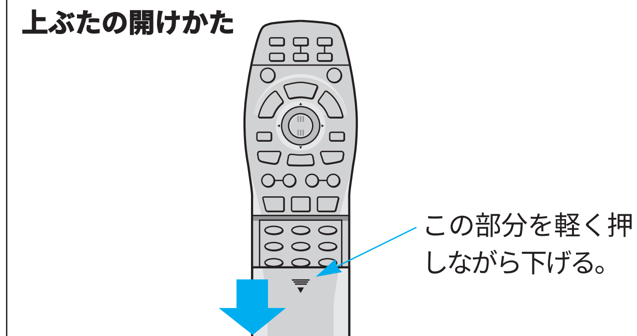
リモコンの準備

乾電池の入れかた



リモコンの使いかた





■ 使用上のお願い

- 受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部とリモコンの先端のほこりに注意。

■ 故障防止のために

- 分解、改造をしない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たる所に放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

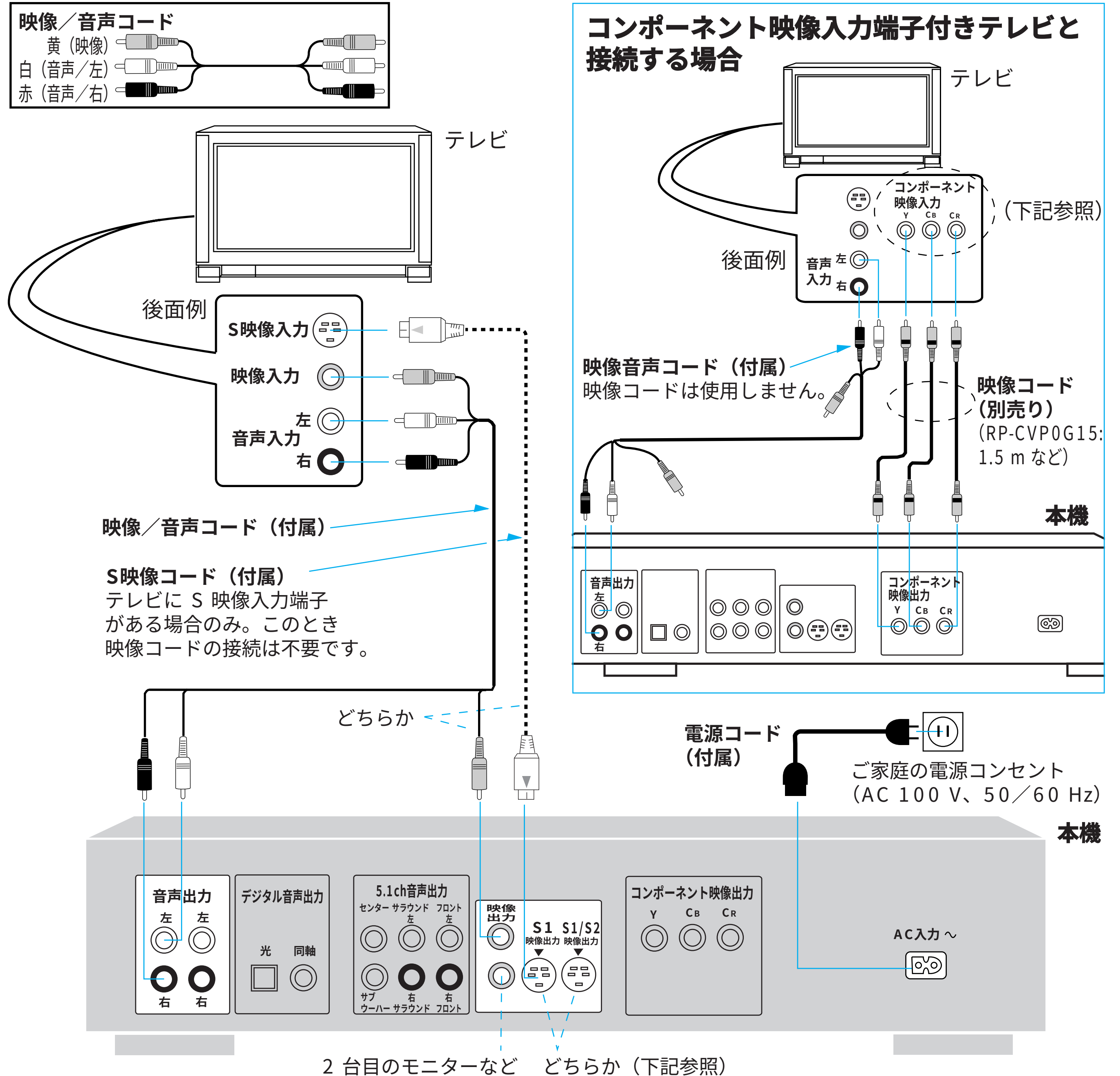
本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作範囲が短くなることがあります。

テレビの接続

映像／音声入力端子のあるテレビ（AV、ワイド、ハイビジョン、プロジェクションなど）と接続します。モニターやプロジェクター（3 管式、液晶など）の場合も音声以外の接続は以下のように行ってください。

お願い
- 接続時には各機器の電源を切ってください。接続機器の説明書も併せてお読みください。
- 本機を高温になる機器（アンプなど）の上に置かないでください。



S 映像端子について

映像端子よりも高画質の映像を得ることができます。

S1: テレビの “ S 映像入力 ” またはワイドテレビの “ S1 映像入力 ” 端子に接続する場合

S2: ワイドテレビの “ S2 映像入力 ” 端子に接続する場合

（⇒ S1、S2 については、39 ページの「7 S 端子出力 S1／S2 のモード」をご参照ください。）

コンポーネント映像端子について

S 映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。テレビやモニターなどにより入力端子の表示が異なる（Y, PB, PR や Y, B-Y, R-Y など）場合がありますので、そちらの説明書もご覧ください。

お知らせ

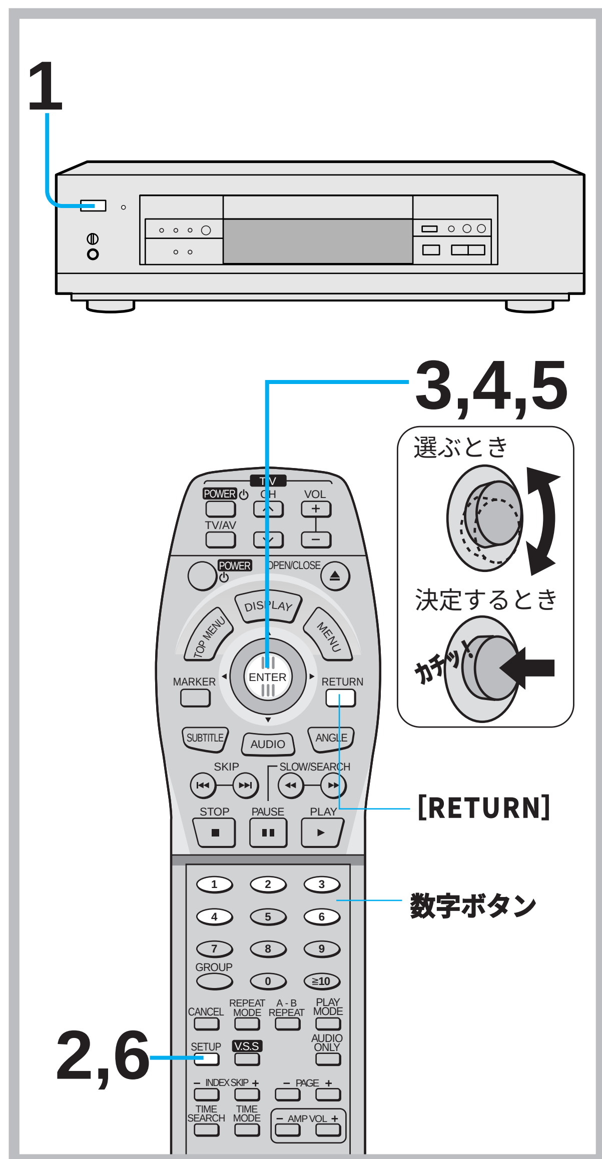
ハイビジョンテレビの場合、DVD に対応していないコンポーネント映像入力には接続しないでください。

ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合の接続と設定を説明しています。
DVD の高音質を楽しむには、40 ページからの接続・設定を行ってください。

設定

テレビの種類により以下のように設定してください。工場出荷時は標準テレビ（画面サイズ 4:3 のブラウン管）設定です。

本機を操作する前に
- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。（ビデオ 1 など）



[RETURN] ボタン
一つ前の画面に戻るとき押します。

数字ボタン
右の手順 3～5 の項目は数字ボタンでも選べます。

1 [POWER（パワー）] を押して **電源を入れる**

本機表示部

Welcome

2 [SETUP（セットアップ）] を押して **初期設定画面を表示させる**

テレビ

1 ディスク言語
2 視聴制限　レベル 8
3 画面メニュー言語　日本語
4 オンスクリーン
5 FLディマー　明
6 接続するTV　4：3
7 デジタル出力
8 スピーカー設定　マルチ チャンネル
9 エキスパート設定
リターンボタンで終了

3 ジョイスティック（▲▼）で **「6 接続する TV」を選ぶ**

1 ディスク言語
2 視聴制限　レベル 8
3 画面メニュー言語　日本語
4 オンスクリーン
5 FLディマー　明
6 接続するTV　4：3
7 デジタル出力
8 スピーカー設定　マルチ チャンネル
9 エキスパート設定
リターンボタンで終了

ジョイスティックを押すと決定し、次の画面に進みます。

4 ジョイスティック（▲▼）で **接続したテレビの画面サイズを選ぶ**

接続するテレビの設定
1　4：3
2　16：9
リターンボタンで終了

「1」　4：3（標準テレビ）
　　　（工場出荷時）
「2」　16：9（ワイドテレビ）

ジョイスティックを押すと決定し、次の画面に進みます。

5 ジョイスティック（▲▼）で **接続したテレビの種類を選ぶ**

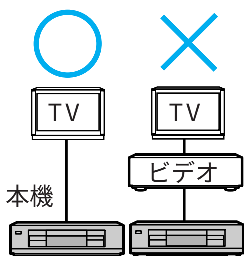
接続するテレビの設定
4：3
1　標準（ブラウン管テレビ）
2　3管式プロジェクター
3　液晶プロジェクター
4　プロジェクションテレビ
リターンボタンで終了

「1」標準（ブラウン管テレビ）
　　（工場出荷時）
「2」3 管式プロジェクター
「3」液晶プロジェクター
「4」プロジェクションテレビ

ジョイスティックを押すと決定し、初期設定画面に戻ります。

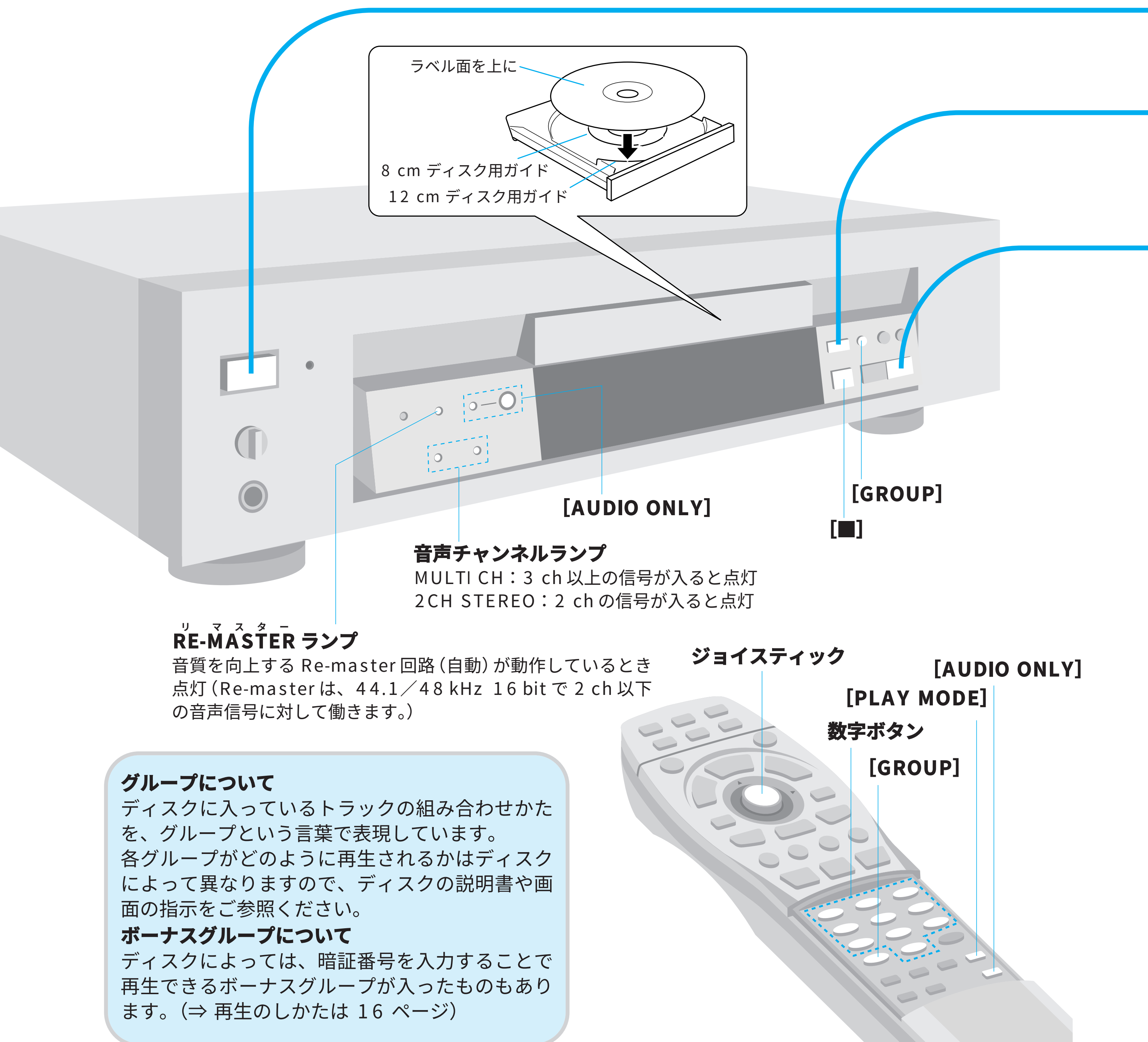
6 [SETUP（セットアップ）] を押して **設定を終了する**

お願い
本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。ビデオデッキや VTR 内蔵テレビなどを経由させると、コピーガードの影響で再生中画面が乱れることがあります。



基本の再生 ― DVD オーディオ

DVD-A DVD-V VCD CD



グループについて
ディスクに入っているトラックの組み合わせかたを、グループという言葉で表現しています。
各グループがどのように再生されるかはディスクによって異なりますので、ディスクの説明書や画面の指示をご参照ください。

ボーナスグループについて
ディスクによっては、暗証番号を入力することで再生できるボーナスグループが入ったものもあります。（⇒ 再生のしかたは 16 ページ）

DVD の音量について
DVD の音は一般に他のソフトより小さく感じられます。もし、テレビ（やアンプ）側の音量を上げる場合は、再生後必ず下げておいてください。別のソフトに切り換えたときに突然大きな音が出る場合があります。

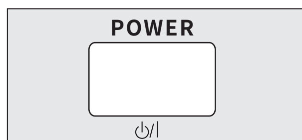
本機を長期間使用しないときは
電源コードを抜いてください。コードを差したままだと電源を切っても約 1.5 W の電力を消費しています。（スタンバイ状態）

お願い
- トレイにディスクを 2 枚置かないでください。
- メニューが出ているときなどは、画面が静止していてもディスクは回っています。再生しないときは［■］（停止）ボタンを押してください。

お知らせ
ボタン操作中、テレビ画面に“ ⃠ ”が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止していることを示しています。

再生する前に
- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせて、テレビの外部入力を切り換える。（ビデオ 1 など）

1



[POWER] を押して
電源を入れる

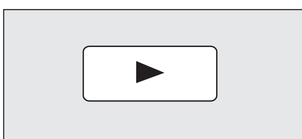
2



[▲ OPEN/CLOSE] を押して
トレイを開き、ディスクを置く

この操作から始めても自動的に電源が入ります。

3



[▶] を押して
再生を始める

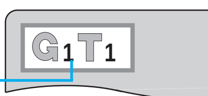
押すと自動的にトレイが閉まります。

ほとんどの DVD ディスクは、[▶] を押す前に［▲ OPEN/CLOSE］を押してトレイを閉めると、自動的に再生を始めます。

再生が終了すると
自動的に停止します。ディスクによってはグループ選択のメニュー画面になります。（⇒ 下記参照）

グループを選ぶには

[GROUP] を押す



押すたびに、グループ番号が切り換わります。
［▶］を押すと、そのグループを再生します。

番号指定で選ぶには（リモコン）
1.［GROUP］を押す。
2. 数字ボタンでグループを選ぶ。
3.［▶］を押す。

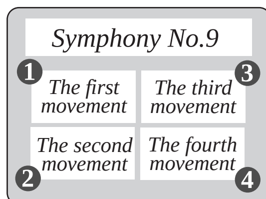
お知らせ
動作状態（メニュー表示中など）によって選べないこともあります。

メニュー画面になったときは

再生を始めたときや、1 つのグループを再生し終わったとき、メニュー画面になる場合があります。

ジョイスティック（◀▶ ▲▼）でメニューを選ぶ
ジョイスティックを押すと決定します。
リモコンの数字ボタンでも選べます。

（表示例）



一度に全グループを再生するには

グループ 1 だけでは全トラックが再生できないようなディスクの場合に行います。

停止中に
リモコンの［PLAY MODE］を押して、オールグループ再生を選ぶ

オールグループ再生

押すたびに
オールグループ → プログラム
↑　　　　　　　　↓
解除　　←　　ランダム

［▶］を押すと、再生を始めます。

より高音質で聞くには（オーディオオンリー）

[AUDIO ONLY] を押す
ボタン左のランプが点灯します。
映像信号が遮断されて音声信号のみになります。
再び押すか、電源を切ると解除されます。（ランプが消灯）

お知らせ
- 音声コードをアンプなどに接続している場合は、テレビの電源も切るとより効果的です。
- 再生していないときは停止時の映像信号が送られます。また操作（スキップなど）を行うと、そのときだけ映像信号が送られ操作表示が出ます。それ以外は映像信号が出ないためテレビ画面は少し乱れた状態になります。

再生を止めるには

[■] を押す

“ ▷ ” が点滅しているときは、**続き再生メモリー機能**（⇒ 右記）が働いています。

止めた位置から再生するには（続き再生メモリー）
“ ▷ ” が点滅している状態で
［▶］を押すと、止めた位置から再生を始めます。
- 電源を切ってもメモリーは保持されます。
- ［■］や［▲ OPEN/CLOSE］を押すと、続き再生メモリーは解除されます。（“ ▷ ” が消灯）

基本の再生 — DVD ビデオ・ビデオ CD・音楽 CD

DVD-A DVD-V VCD CD

ラベル面を上に

8 cm ディスク用ガイド

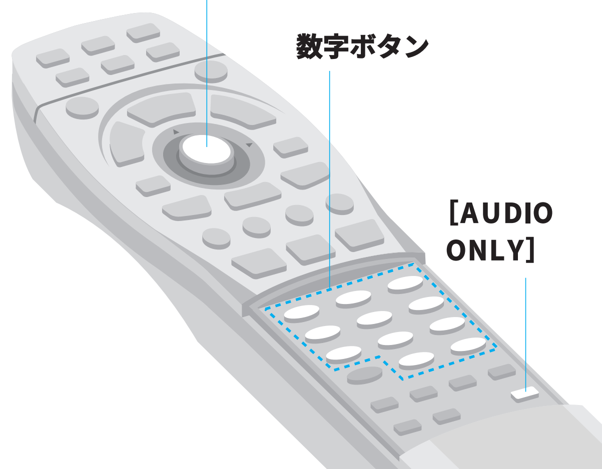
12 cm ディスク用ガイド

[AUDIO ONLY]

[■]

音声チャンネルランプ
MULTI CH：3 ch 以上の信号が入ると点灯
2CH STEREO：2 ch の信号が入ると点灯

RE-MASTER（リマスター）ランプ
音質を向上する Re-master 回路（自動）が動作しているとき点灯（Re-master は、44.1／48 kHz 16 bit で 2 ch 以下の音声信号に対して働きます。）



DVD、ビデオ CD について
ソフト制作者の意図によって再生方法が決められているディスクでは、一時停止、早送りなどいくつかの操作を禁止している場合がありますので、ディスクの説明書もよくお読みください。

カラオケディスクについて
通常は 1 曲終わるたびメニューに戻るように作られています。
- メニューで連続再生を選べるディスクもあります。
- メニューに戻らず自動的に連続再生するディスクもあります。

DVD の音量について
DVD の音は一般に他のソフトより小さく感じられます。もし、テレビ（やアンプ）側の音量を上げる場合は、再生後必ず下げておいてください。別のソフトに切り換えたときに突然大きな音が出る場合があります。

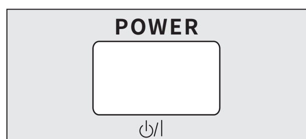
本機を長期間使用しないときは
電源コードを抜いてください。コードを差したままだと電源を切っても約 1.5 W の電力を消費しています。（スタンバイ状態）

お願い
- トレイにディスクを 2 枚置かないでください。
- メニューが出ているときなどは、画面が静止していてもディスクは回っています。再生しないときは［■］（停止）ボタンを押してください。

お知らせ
ボタン操作中、テレビ画面に “ ⃠ ” が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止していることを示しています。

再生する前に
● テレビの電源を入れる。
● 本機との接続に合わせて、テレビの外部入力を切り換える。（ビデオ 1 など）

1



[POWER] を押して

電源を入れる

2

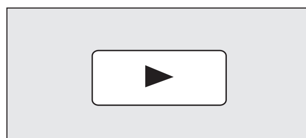


[▲ OPEN/CLOSE] を押して

トレイを開き、ディスクを置く

この操作から始めても自動的に電源が入ります。

3



[▶] を押して

再生を始める

押すと自動的にトレイが閉まります。

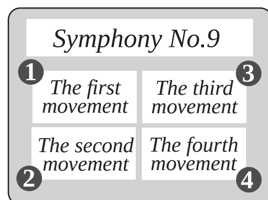
ほとんどの DVD ディスクは、[▶] を押す前に [▲ OPEN/CLOSE] を押してトレイを閉めると、自動的に再生を始めます。

メニュー画面になったときは

DVD-A DVD-V VCD CD

一部の DVD ビデオやプレイバックコントロール付きのビデオ CD では、再生を始めるとまずメニュー画面になる場合があります。そのときは以下のように選んでください。

（表示例）



（DVD のみ）
ジョイスティック（◀▶ ▲▼）で
メニューの項目を選ぶ
ジョイスティックを押すと決定します。

 または

（DVD ビデオ、ビデオ CD 共通）
数字ボタンを押して
メニューの項目を選ぶ
10 以上の場合は
例 10: [≧10] → [1] → [0]
例 25: [≧10] → [2] → [5]

その他のメニュー操作ボタン（例）
ディスクによって異なりますので、ディスク側の説明書もお読みください。
[スキップ]：次のメニューを出す
[リターン]：前のメニューに戻る
[メニュー]：メニュー画面を出す（DVD）
[トップメニュー]：最初のメニューに戻る（DVD）

再生を停止するには

[■] を押す

“ ▷ ” が点滅しているときは、**続き再生メモリー機能**（⇒ 下記）が働いています。

止めた位置から再生するには

（続き再生メモリー機能）

“ ▷ ” が点滅している状態で
[▶] を押すと、止めた位置から再生を始めます。
DVD ビデオの場合は以下のメッセージが表示されている間に [▶] を押すと、**あらすじリプレイ**になります。

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります

あらすじリプレイとは、それまで見た位置までの各チャプターの冒頭部分を順次再生する機能です。その後、止めたところからの通常再生が始まります。

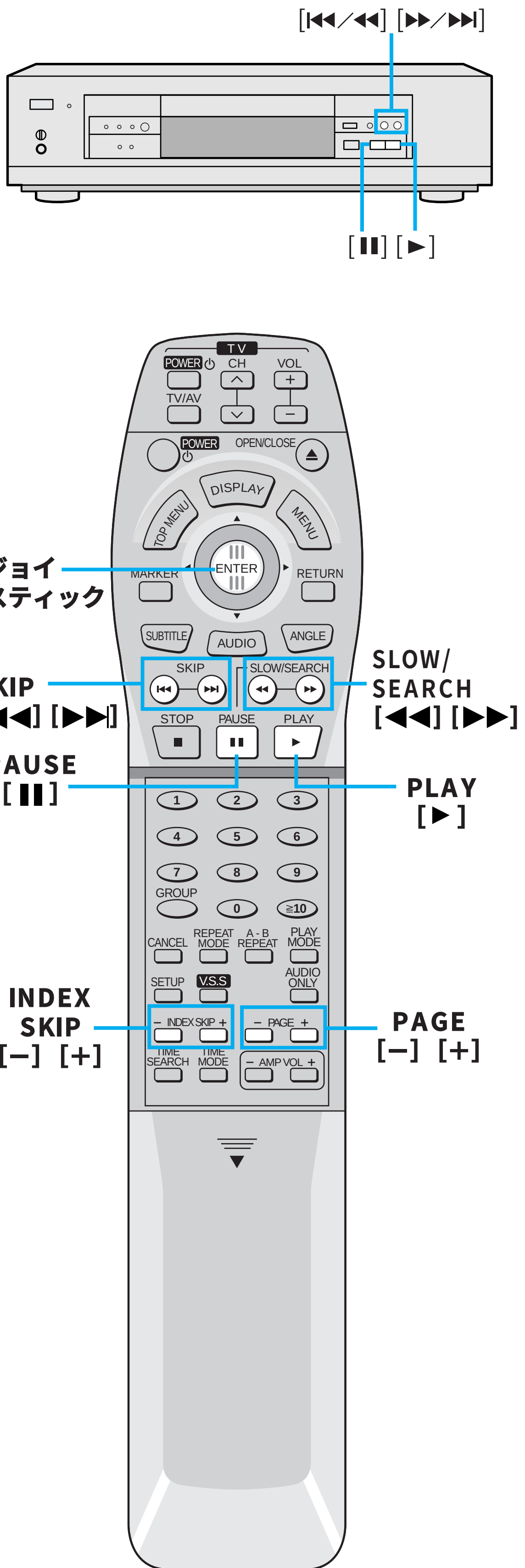
[■] や [▲ OPEN/CLOSE] を押すと、続き再生メモリーは解除されます。（“ ▷ ” が消灯）

お知らせ
● 再生しても表示窓に時間経過が出ないディスクの場合は、続き再生メモリー機能は働きません。
● 電源を切ってもメモリーは保持されます。
● あらすじリプレイのできない DVD ビデオもあります。

より高音質で聞くには（オーディオオンリー）

[AUDIO ONLY] を押す

（⇒ くわしくは 11 ページをご覧ください。）



一時停止する（静止）

DVD-A DVD-V VCD CD

PAUSE（ポーズ）［❚❚］を押す

［▶］を押すと、元の再生に戻ります。

場面や曲を飛びこす（スキップ）

DVD-A DVD-V VCD CD

DVD オーディオ、CD、ビデオ CD のトラックや、DVD ビデオのチャプターの頭へ飛び、そこから再生します。

SKIP（スキップ）［|◀◀］［▶▶|］を押す

本体では［|◀◀／◀◀］［▶▶／▶▶|］を押す。

▶▶| 進む

|◀◀ 戻る

- 押した回数だけ飛び越します。
- 戻る方向へ 1 回押すと、再生中のトラック／チャプターの頭に飛びます。

お知らせ

DVD やビデオ CD のメニュー画面で押すと、前のメニューに戻る場合があります。

早送り／早戻し再生をする（サーチ）

DVD-A DVD-V VCD CD

再生中に

SLOW（スロー）／SEARCH（サーチ）［◀◀］［▶▶］を押す

本体では［|◀◀／◀◀］［▶▶／▶▶|］を押したままにする。

▶▶ 進む

◀◀ 戻る

- 押すたびにサーチの速度が速くなります。（5 段階）本体では長く押すとしだいに速くなります。
- 早送り／早戻し中も音声が聞こえます。（音声が出ないディスクもあります。）音声が出ないようにすることもできます。（DVD ビデオとビデオ CD のみ ⇒ 38 ページ）
- ［▶］を押すと、元の再生に戻ります。

お知らせ

DVD やビデオ CD のメニュー画面で押すと、前のメニューに戻る場合があります。

スロー再生をする（スロー）

DVD-A DVD-V VCD CD

一時停止（静止）中に

SLOW／SEARCH［◀◀］［▶▶］を押す

本体では［|◀◀／◀◀］［▶▶／▶▶|］を押したままにする。

▶▶ 進む
◀◀ 戻る（DVD のみ）

- 押すたびにスローの速度が速くなります。（5 段階）本体では長く押すとしだいに速くなります。
- ［▶］を押すと、元の再生に戻ります。

お知らせ

- DVD オーディオでは、動画でのみできます。

静止画を選ぶ（ページスキップ）

DVD-A DVD-V VCD CD

静止画付きの DVD オーディオでは、好みの画像を選ぶことができます。

再生中に

PAGE［−］［+］を押す

［+］ 進む
［−］ 戻る

お知らせ

- スライドショー形式（自動的に静止画が送られるタイプ）の映像などは選択できない場合があります。

動画を 1コマずつ送る（コマ送り）

DVD-A DVD-V VCD CD

一時停止（静止）中に

ジョイスティックを左右に倒す

（右） 進む
（左） 戻る（DVD のみ）

- 倒すたびに1コマずつ送り（戻り）ます。
- 倒したままにしておくと、コマが連続して送られ（戻り）ます。
- ［▶］を押すと、元の再生に戻ります。

お知らせ

- DVD オーディオでは、動画でのみできます。
- ［❚❚］をポンポンと押してもコマ送りできます。
- フレームスチル、フィールドスチルは自動的に選ばれます。（⇒ 38、53 ページ参照）

インデックスを選ぶ（インデックススキップ）

DVD-A DVD-V VCD CD

DVD オーディオのトラックは、インデックスという単位で分けられています。これをスキップすることで、好みの位置をさがすことができます。

再生中／一時停止（静止）中に

INDEX SKIP［−］［+］を押す

［+］ 進む
［−］ 戻る

- スキップした位置で、操作前の動作（再生／一時停止）になります。

お知らせ

- スキップ中は音声が途切れます。
- インデックスのないトラックもあります。

好みのトラック／チャプターを番号指定で再生する

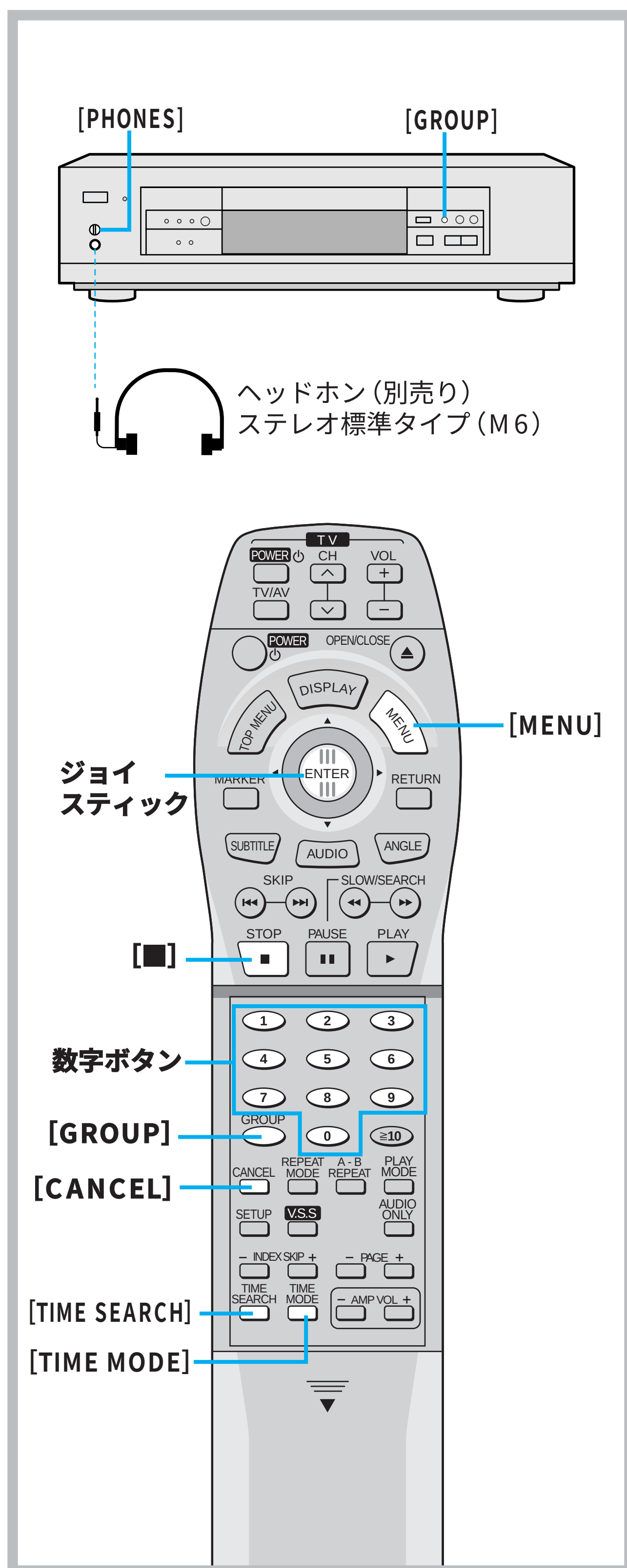
DVD-A DVD-V VCD CD

再生中または停止中に

数字ボタンを押す

10 以上の場合は
例 10:［≧10］→［1］→［0］
例 25:［≧10］→［2］→［5］

- DVD オーディオの場合、別のグループのトラックを選ぶときは、まずグループ番号を指定してください。（⇒ 11 ページ）
- プレイバックコントロール付きビデオ CD は、メニュー機能を解除することで行えます。（⇒ 17 ページ）
- 動作状態（メニュー表示中など）によってできない場合があります。



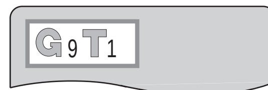
ボーナスグループを再生する

DVD-A DVD-V VCD CD

DVD オーディオのディスクによって入っているボーナスグループは、暗証番号を入力すると再生可能になります。

停止中に

1. [GROUP（グループ）] を押してボーナスグループを指定する (⇒ 11 ページ)



2. [▶] を押す

3. 数字ボタンで暗証番号（4 桁）を入力する

暗証番号はディスクの説明書などで確認してください。

（例：1234）

ボーナスグループ
暗証番号4ケタを入力して
決定ボタンを押してください。
1 2 3 4

4. ジョイスティックを押す

トラック選択表示になります。ジョイスティック（▲▼）で好みのトラックを選んでから、再度押してください。

- プログラム操作やランダム操作でボーナスグループを指定した場合も、同じ操作を行ってください。
- メニュー画面で、暗証番号を入力する場合もあります。そのときは画面の指示に従ってください。
- いったん暗証番号を入力すると、ディスクを取り出すまでは何度も再生できます。

お知らせ

- 数字を間違えて入力した場合は元の画面に戻ります。もう一度最初から行ってください。
- 入力中に数値を間違えた場合は、[CANCEL] を押してください。

ここで紹介した他に、次のような便利機能があります。（⇒ くわしくは 28 ページの「絵表示を使って操作する（GUI）」をご覧ください。）

- **画質を調整する（シネマ画質など）**
- **セリフのみ音量を上げる（シネマボイスモード）**
- **本機の出力レベルを調整する（マスターボリューム）**

時間指定した位置から再生する（タイムサーチ）

DVD-A DVD-V VCD CD

好みの位置までの再生時間が分かっている場合は、以下の方法で指定し、そこから再生することができます。
DVD オーディオはグループ内、DVD ビデオはタイトル内でのみ行えます。

再生中に

1. [TIME SEARCH（タイム サーチ）] を押す



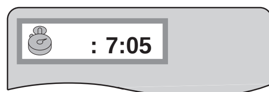
2. 数字ボタンで時間を指定する

（例：7 分 05 秒）

① 分（7）を入力



② 秒（05）を入力



- その他の例
  7 分 30 秒：7→3→0
  1 時間 02 分 30 秒：1→0→2→3→0

3. ジョイスティックを押す

指定した位置から再生が始まります。

お知らせ

- ランダム再生／プログラム再生中はタイムサーチはできません。
- グループ（またはタイトル）をまたがって指定することはできません。入力途中にグループ（またはタイトル）が終了すると、入力画面は消えます。
- DVD オーディオでは本体表示窓が、タイムサーチ後に再生を始めたトラックの経過時間表示になります。
- 入力中に数値を間違えた場合は、[CANCEL] を押してください。
- 中止する場合は、[TIME SEARCH] を押してください。

時間表示を切り換える（タイムモード）

DVD-A DVD-V VCD CD

本体表示窓に出す情報を切り換えることができます。
ビデオ CD はメニュー機能を解除することで行えます。（⇒ 下記参照）

[TIME MODE（タイム モード）] を押す

- 押すたびに切り換わります。
- 切り換わる内容は動作状態により異なります。

例：DVD オーディオを通常モードで再生しているとき

トラック経過時間 → トラック残り時間 → グループ残り時間 → トラック経過時間

メニュー機能を使わずに再生する（PBC 解除）

DVD-A DVD-V VCD CD

（プレイバックコントロール付きビデオ CD のみ）

メニュー機能を一時的に解除することで、連続再生できます。

1. メニュー表示中に [■] を押す。（本体表示窓の“ PBC ”が消灯）
2. 数字ボタンを押して、希望のトラック番号を選ぶ。
   選んだトラックから再生が始まります。
   - トラック番号はディスクのジャケットで調べてください。

メニュー再生に戻すには

1. [■] を押して再生を止める。
2. リモコンの [MENU] を押す。
   （本機の表示窓に“ PBC ”が点灯）

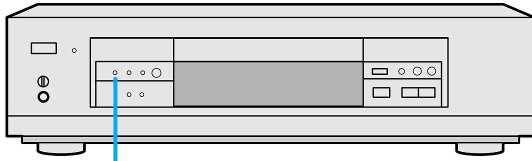
ヘッドホンで聞く

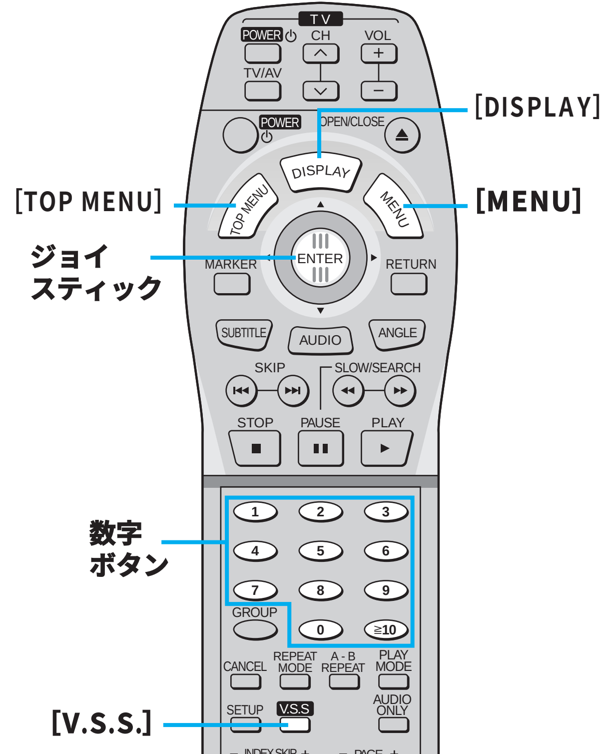
DVD-A DVD-V VCD CD

1. [PHONES] を“ MIN ”（最小）の位置まで回し、ヘッドホン（別売り）を接続する。
2. [PHONES] を回して音量を調整する。

お願い

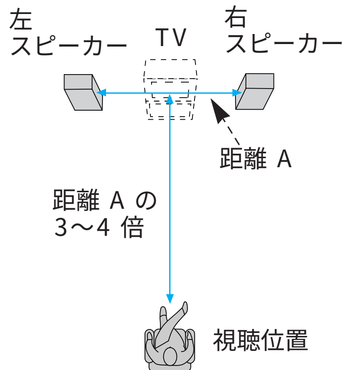
耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。





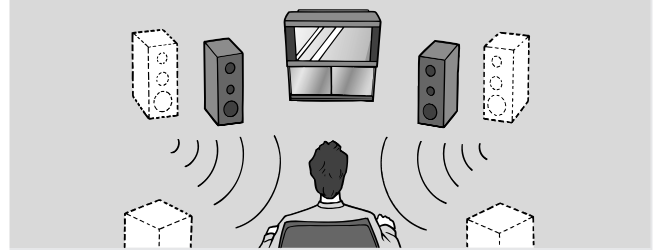
効果的な位置

左右フロントスピーカー間の 3〜4 倍の距離を、テレビから離れて視聴すると効果的です。



バーチャルサラウンドサウンドを楽しむ（V.S.S.）

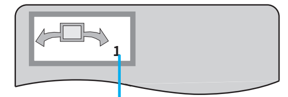
DVD-A DVD-V VCD CD



フロントスピーカー（L/R）やヘッドホンだけでも、サラウンドサウンドを楽しむことができます。
（ドルビーデジタルのみ）

再生中に

1 **[V.S.S.]** を押して
V.S.S. のレベルを選ぶ



押すたびに
1（レベル 1）→ 2（レベル 2）
↑―― 切（解除）←――┘

DVD ディスクでも、以下の場合は V.S.S. の効果がありません。（それ以外でも、ディスクによっては効果が少なくなることがあります。）
1. 音声が 1 ch のディスク
2. カラオケディスク

お願い

フロント以外のスピーカーも使うときは、V.S.S. を必ず " 切 " にしてください。レベル1、2 のときはフロントスピーカーからしか音が出ません。

V.S.S. をヘッドホンで楽しむには

1. ［DISPLAY］を押して GUI 画面を出し、V.S.S. アイコンを選ぶ。
2. ヘッドホン V.S.S. を選ぶ。

（⇒ くわしくは、28、29、31 ページをご覧ください。）

スピーカーからの音質が変わりますので、ヘッドホンを使わないときは、V.S.S.（スピーカー）に戻してください。
（電源を切ってもモードは保持されます。）

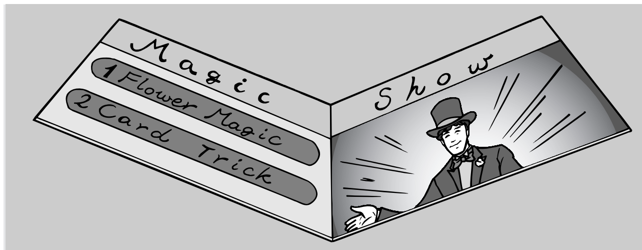
V.S.S. のレベルやモードによる効果の違い

V.S.S. モード	V.S.S. レベル 1	V.S.S. レベル 2
V.S.S.（フロントスピーカー）	フロントスピーカーの音が、実際の位置より少し左右に広がっているように聞こえます。ディスクにサラウンド信号が記録されている場合は、サラウンドスピーカーがないにも関わらず、横方向から音が出ているように感じます。	レベル 1 よりさらに広がって聞こえます。
ヘッドホン V.S.S.	左右にスピーカーが存在しているように聞こえます。	レベル 1 よりさらに広がって聞こえます。

メニューを使う

メニュー

DVD-A DVD-V VCD CD

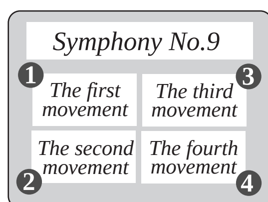


多くの DVD では、本編とは別にメイキングシーンや場面選択などを選べるメニュー画面を設けています。また、メニュー選択で再生するのが基本の DVD もあります。
メニュー画面の出しかたや選びかたはディスクによって異なりますので、ここでは一般的な操作を説明します。

停止中または再生中に

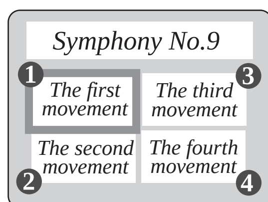
1 [MENU] を押して
メニューを表示させる

表示例



● もう一度押すと、元の状態に戻ります。

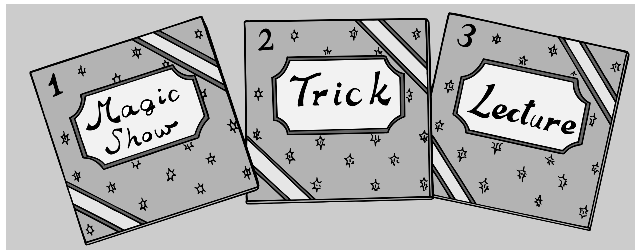
2 **ジョイスティック** または**数字ボタン**で
項目を選ぶ



● ジョイスティックを左右または上下に倒すと、別の項目へ移動します。項目が選ばれた状態でジョイスティック(または [▶])を押すと、決定します。

トップメニュー

DVD-A DVD-V VCD CD

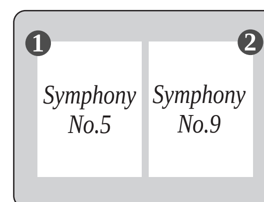


映画が数本入っているなど複数タイトルを持つ DVD ビデオでは、トップメニューからタイトルを選択して再生することができます。
DVD オーディオでは、グループを選ぶメニューが表示されます。

停止中または再生中に

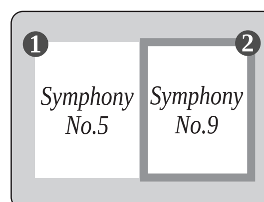
1 [TOP MENU] を押して
タイトルを表示させる

表示例



● もう一度押すと、元の状態に戻ります。

2 **ジョイスティック** または**数字ボタン**で
タイトルを選ぶ



● ジョイスティックを左右または上下に倒すと、別のタイトルへ移動します。タイトルが選ばれた状態でジョイスティック(または [▶])を押すと、決定します。

お知らせ

● メニューの使い方はディスクによって異なりますので、ディスクに付属の説明書をご覧ください。(上記は一般的な操作です。)
● 複数のメニューを持たないディスクでは、どちらのボタンを押しても同じ結果になることがあります。

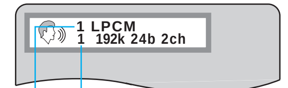
音声を切り換える

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

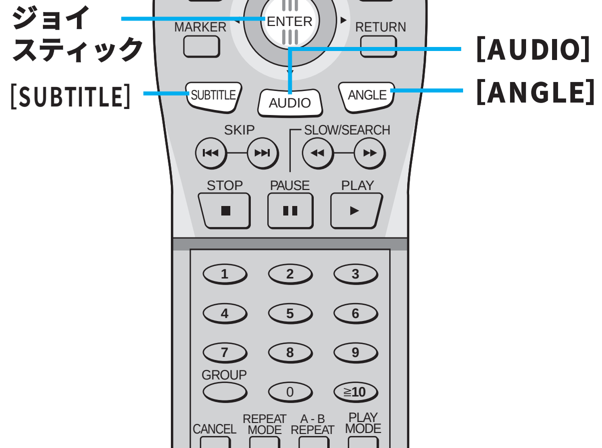


複数の音声が収録されている DVD では、再生中に好みの音声（言語や、PCM などの音声方式）を選ぶことができます。

表示例（DVD オーディオ時）



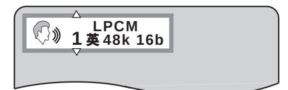
選んだ音声番号
現在再生中の音声番号



再生中に
[AUDIO]（オーディオ）を押して

音声番号を切り換える

表示例（DVD ビデオ時）



- 押すたびに切り換わります。
  （ジョイスティック ▲▼ でも選べます。）
  DVD オーディオ（動画部分以外）では、現在再生中のトラックの先頭に戻ります。
- DVD オーディオは通常、2 つ目の音声がない場合でも［AUDIO］を押すと番号 2 まで表示します。（現在再生中の音声番号は 1 のままです。）
- 音声が収録されていないディスクのときは、“ – ” が表示されます。

■ 表示を消すには

ジョイスティックを押す。

お知らせ

- 希望の言語や音声方式にならない場合は、ディスクにその音声が収録されていません。
- 始めから好みの言語で聞きたい場合は、音声言語設定（⇒ 32 ページ）を行ってください。電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、その設定が優先されます。（ただし、設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。また一部の DVD には、本機の設定よりもディスクの指定言語を優先させるものがあります。）

音声の切り換え機能を使ってこんなことができます

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

DVD カラオケやビデオ CD のカラオケディスクで、ボーカルの入／切が行えます。

1. ［AUDIO］を押して音声表示を出す。
   DVD　　　ビデオ CD



2. 好みのモードを選ぶ。
   - DVD カラオケ（ソロ）の場合
     ジョイスティック（◀▶）で、ボーカルの「---（切）」「入」を切り換える。
   - DVD カラオケ（デュエット）の場合
     ジョイスティック（◀▶）で、ボーカルの「---（切）」「1+2（入）」「V1（入）」「V2（入）」を切り換える。
   - ビデオ CD の場合
     ジョイスティック（▲▼）で、「LR」「L」「R」を切り換える。

お知らせ

- 2 つ目の音声にボーカルが入っている場合は、［AUDIO］を押すたびに切り換わります。
- 本機には直接マイクを接続できません。カラオケをお楽しみになるには、マイク端子付きの AV アンプなどに接続してください。

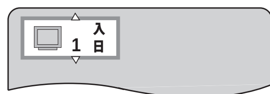
字幕言語を切り換える

DVD-A DVD-V VCD CD



複数の字幕言語が収録されている DVD では、再生中に好みの言語を選ぶことができます。

再生中に
[SUBTITLE]（サブタイトル） を押して



字幕番号を切り換える

- 押すたびに切り換わります。（ジョイスティック ▲▼ でも選べます。）
- 字幕言語が収録されていないディスクのときは、“ -- ” が表示されます。

■ **字幕を入／切するには**
ジョイスティック（◀ ▶）で選ぶ。

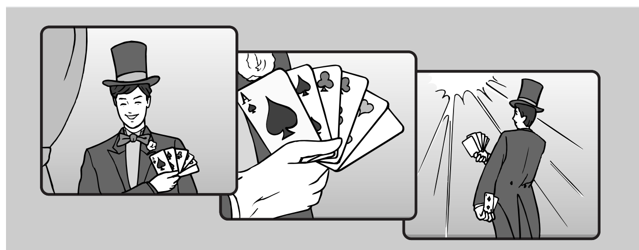
■ **表示を消すには**
ジョイスティックを押す。

お知らせ

- 変更した後、その言語が表示されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 希望の言語にならない場合は、ディスクにその言語が収録されていません。
- 始めから好みの言語で見たい場合は、字幕言語設定（⇒ 32 ページ）を行ってください。電源を入れたときやディスクを入れ替えたときは、その設定が優先されます。（ただし、設定した言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。また一部の DVD には、本機の設定よりもディスクの指定言語を優先させるものがあります。）

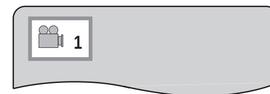
アングルを切り換える

DVD-A DVD-V VCD CD



マルチアングルが収録されている DVD では、1 つの場面を角度や視点などを変えて見ることができます。

マルチアングルの場面を再生中に
[ANGLE]（アングル） を押して



アングル番号を切り換える

- 押すたびに切り換わります。（ジョイスティック ▲▼ でも選べます。）

■ **表示を消すには**
ジョイスティックを押す。

お知らせ

- マルチアングル機能は、それが収録されている場面でのみ働きます。
- マルチアングルの場面になると、本体表示窓では “ 🎥 ” が表示されます。
- マルチアングルの場面にならなくても、あらかじめ設定できるディスクもあります。この場合、その場面になった時点で指定したアングルになります。（DVD ディスクの説明書もご覧ください。）

順不同に再生する（ランダム）

DVD-A　DVD-V　VCD　CD



各トラックを 一度ずつ、順不同に再生します。
DVD オーディオでは、指定したグループの中でランダム再生を行います。

ジョイスティック
SLOW／SEARCH [◀◀] [▶▶]
STOP [■]
PLAY [▶]
[PLAY MODE]

停止中に

1 [PLAY MODE]（プレイ モード）を押して **ランダム再生を選ぶ**

表示例（DVD オーディオ時）

ランダム再生
グループ番号を選んでください。
グループ：オール 1 2 3 4 5
プレイボタンでランダム再生スタート

本体表示窓　RND DVD AUDIO　Random

押すたびに

DVD オーディオでは

オールグループ → プログラム → ランダム
↑――――― 解除 ←―――――┘

ビデオ CD、音楽 CD では

プログラム→ ランダム → 解除
↑―――――――――――┘

（DVD オーディオのみ）

2 ジョイスティックで **グループを選ぶ**

- 選んでからスティックを押すと、グループが決定します。
- グループは複数選べます。
- 取り消す場合は、そのグループを選んでジョイスティックを押します。

ランダム再生
グループ番号を選んでください。
＊
グループ：オール 1 2 3 4 5
プレイボタンでランダム再生スタート

RND DVD AUDIO　All ＊＊＊4＊

3 [▶] を押して **ランダム再生を始める**

■ ランダム再生が終了すると

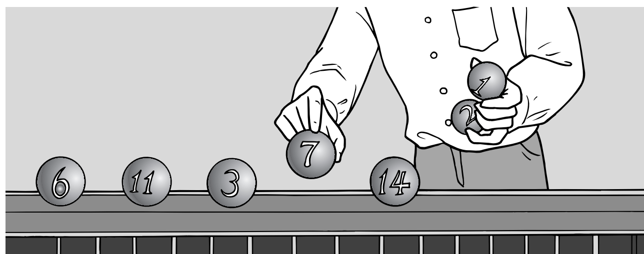
停止して、ランダム再生画面に戻ります。

■ ランダム再生を解除するには

1. [■] を押す。
2. [PLAY MODE] を押して、元の再生モードに戻す。

好みの順に再生する（プログラム）

DVD-A DVD-V VCD CD

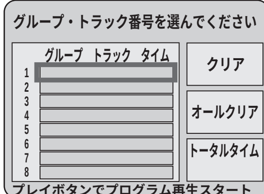


最大 100 トラックまで好みの順に再生します。
DVD オーディオでは、複数のグループにまたがってプログラム再生することができます。

停止中に

1 ［PLAY MODE］を押して プログラム再生を選ぶ

DVD オーディオの場合



本体表示窓



押すたびに

DVD オーディオでは

オールグループ → プログラム → ランダム
↑―――― 解除 ←――――┘

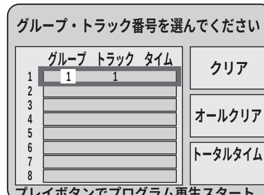
ビデオ CD、音楽 CD では

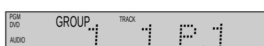
プログラム → ランダム → 解除
↑――――――――――┘

（DVD オーディオのみ）

2 ジョイスティックで グループを選ぶ

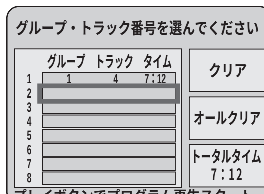
1. ジョイスティックを押す。
2. 番号を選ぶ（▲▼）。





3 ジョイスティックで トラックを選ぶ

1. ジョイスティックを押す。
2. 番号を選び（▲▼）、再度押す。





プログラム数

- “ オール ” を選ぶと、グループ内の全トラックが予約されます。また、その時点で予約トラック数の合計が 100 を越えた場合は、越えたトラックが自動的に除外されます。
- DVD オーディオでは、トータルタイムが表示されるまでに少し時間がかかります。

4 さらに予約する

DVD オーディオでは
手順 2、3 を繰り返す。
ビデオ CD、音楽 CD では
手順 3 を繰り返す。

- 予約数が 8 を越えると画面が自動的に切り換わります。

5 ［ ▶ ］を押して プログラム再生を始める

■ プログラム再生が終了すると
停止し、プログラム予約画面になります。

■ プログラム再生を解除するには
1. ［■］を押す。
2. ［PLAY MODE］を押して、元の再生モードに戻す。
（予約内容は残ります。）

■ 再び、初めからプログラム再生を行うには
1. プログラム再生中は、［■］を 2 回押す。
他の再生モードのときは、［PLAY MODE］を押してプログラム再生を選ぶ。（いずれの場合も、プログラム予約画面になります。）
2. ［ ▶ ］を押す。

■ 予約を変更するには
変更したいトラック（またはグループ）をジョイスティックで選び、押す。
この後、左記手順 3（または 2、3）を行ってください。

- ［◀◀ ］［ ▶▶ ］を押すと一度に画面が切り換わり、変更したい予約番号を早く表示させることができます。

■ 予約を 1 つずつ取り消すには
ジョイスティックで予約を選び、続いて “ クリア ” を選んで、押す。

■ 予約をすべて取り消すには
ジョイスティックで “ オールクリア ” を選び、押す。
ディスクを取り出したときも取り消されます。

お知らせ
グループとトラックは、数字ボタンでも選べます。

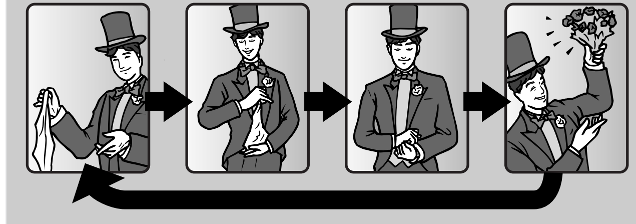
[REPEAT MODE]

[A-B REPEAT]

繰り返し再生する
（リピート／A-B リピート）

DVD-A　DVD-V　VCD　CD

リピート



ディスクやタイトル、トラックやチャプターなどを繰り返します。
DVD オーディオでは、グループの再生モード（通常またはオールグループ）に従って繰り返します。

再生中に

1 **[REPEAT MODE]**（リピート モード） を押して
好みのリピートを選ぶ

- 押すたびに切り換わります。
- DVD ビデオとその他ではリピートの内容が異なります。

DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD

●トラック



↓

●オール（ディスク全体またはグループ）



DVD オーディオの通常再生時は“G”（グループ）が表示され、再生中のグループを繰り返します。

↓

●切



DVD ビデオ

●チャプター



↓

●タイトル



↓

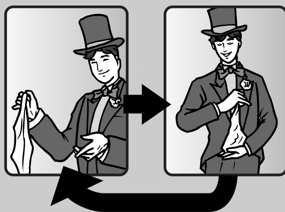
●切



お知らせ

- 一部の DVD ではリピートできません。また、プレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中はリピートが働きません。
- タイトルが 2 つ以上ある DVD ビデオでは、ディスク全体を繰り返すことはできません。

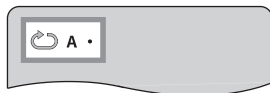
A-B リピート



指定した 2 点間を繰り返します。

再生中に、リピートを始めたい位置で

1 **[A-B REPEAT]** を押して
A-B リピート開始位置（A）を指定する



2 **[A-B REPEAT]** を押して
A-B リピート終了位置（B）を指定する



■ A-B リピートを解除するには
［A-B REPEAT］を押して、“ ⭮ · · ” を表示させる。

お知らせ

- 一部の DVD では A-B リピートが働きません。
- A-B リピートは、同一タイトル／トラック間でのみ行えます。
- 終了位置（B）を指定する前に、タイトル／トラックが終了した場合は、そこが終了位置（B）になります。
- 字幕が出るディスクの場合、A-B 間の前後の字幕は表示されない場合があります。
- リピート（左記）と A-B リピートは同時には行えません。

プログラム再生を繰り返すには

DVD-A DVD-V VCD CD

■ 全プログラムを繰り返すには
1. プログラム再生を始める。
   （⇒ 23 ページ）
2. 再生中に［REPEAT MODE］を 2 回押して、“ ⭮ A ” を点灯させる。

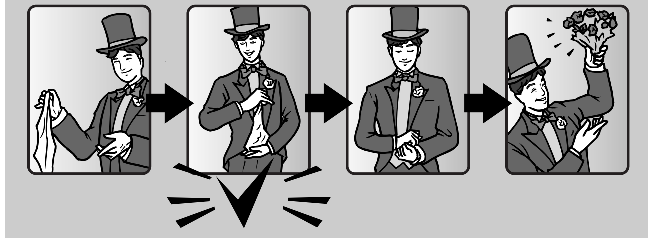
■ 好みのトラックのみを繰り返すには
そのトラックの再生中に［REPEAT MODE］を押して “ ⭮ T ” を点灯させる。

■ 解除するには
［REPEAT MODE］を押して “ ⭮ 切 ” を表示させる。

好みの位置を記憶させる（マーカー）

DVD-A DVD-V VCD CD

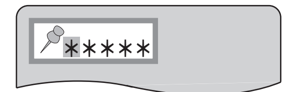
マークをつける



再び見たい（聞きたい）位置にマークをつけておくと、後でそこから再生することができます。マークは 5 つまでつけられます。

再生中に

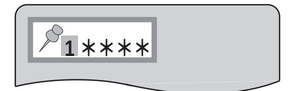
1 [MARKER] を押して
マーカー画面を表示させる



● " ∗ " は未使用のマークを示しています。

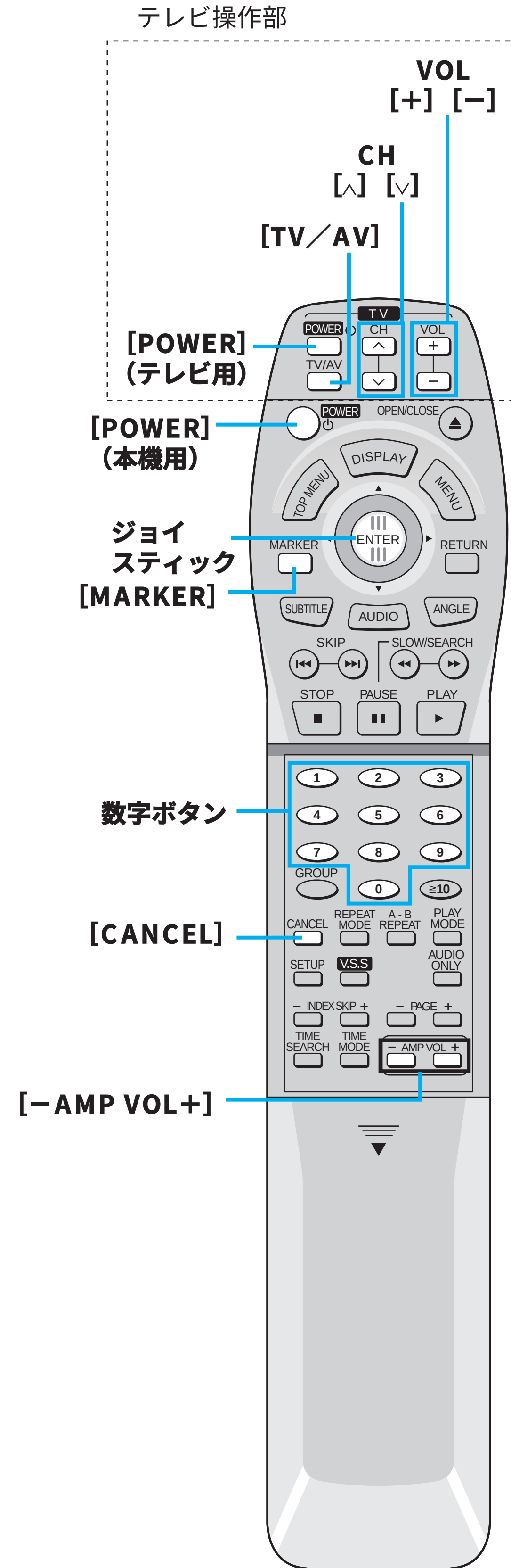
好みの位置で

2 **ジョイスティック**を押して
記憶させる

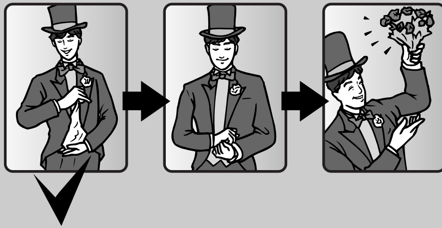


● " ∗ "が数字に変わります。
別の位置にもマークしたい場合は、ジョイスティックで次の" ∗ "を選びジョイスティックを押します。

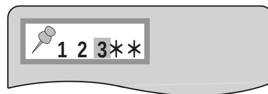
■ マークを取り消すには
再生中に
1.［MARKER］を押す。
2. ジョイスティックで不要なマークを選び、［CANCEL］を押す。



マークした位置から再生する



1 ジョイスティック（◀▶）で
マークを選ぶ



● マーカー画面になっていないときは、［MARKER］を押してください。

2 ジョイスティックを
押す

● マークした位置まで飛んで、そこから再生を始めます。

お知らせ

● 一部の DVD や、プレイバックコントロール付きビデオ CD のメニュー再生中はマークをつけることができません。
● マークをつけた箇所によっては、字幕や映像が表示されないことがあります。
● 電源を切るか、ディスクを取り出すと、マークは消去されます。

テレビやアンプを操作する

本リモコンで、各社テレビの基本操作や、当社製アンプの音量調整を行うことができます。

テレビを操作する

まず、お持ちのメーカーに合わせて、リモコンのコードを切り換えてください。

リモコンの［POWER］（本機用）を押しながら、メーカー番号（2 桁）を押す。

番号	メーカー名	番号	メーカー名
01	松下 1	10	松下 2
02	シャープ 2	11	シャープ 1
03	ソニー	12	三菱 1
04	東芝	13	パイオニア
05	日立	14	ビクター
06	NEC 1	15	NEC 2
07	三洋 1	16	三洋 2
08	三菱 2	17	松下 3
09	富士通		

● 松下など、複数のメーカー番号がある場合は、リモコンで実際に動作する番号を選んでください。
● リモコンの電池を交換したときは、メーカー番号を再設定してください。

■ 電源を入／切するには
［POWER］（テレビ用）を押す。
■ チャンネルを選ぶには
CH ［∧］（上方向へ）または ［∨］（下方向へ）を押して順に選ぶ。
■ 音量を調整するには
VOL ［+］（大きくなる）または ［−］（小さくなる）を押す。
■ 入力を切り換えるには
［TV／AV］ を押す。

当社製アンプ（またはレシーバー）の音量を調整する

アンプ音量［−］［+］を押して調整する

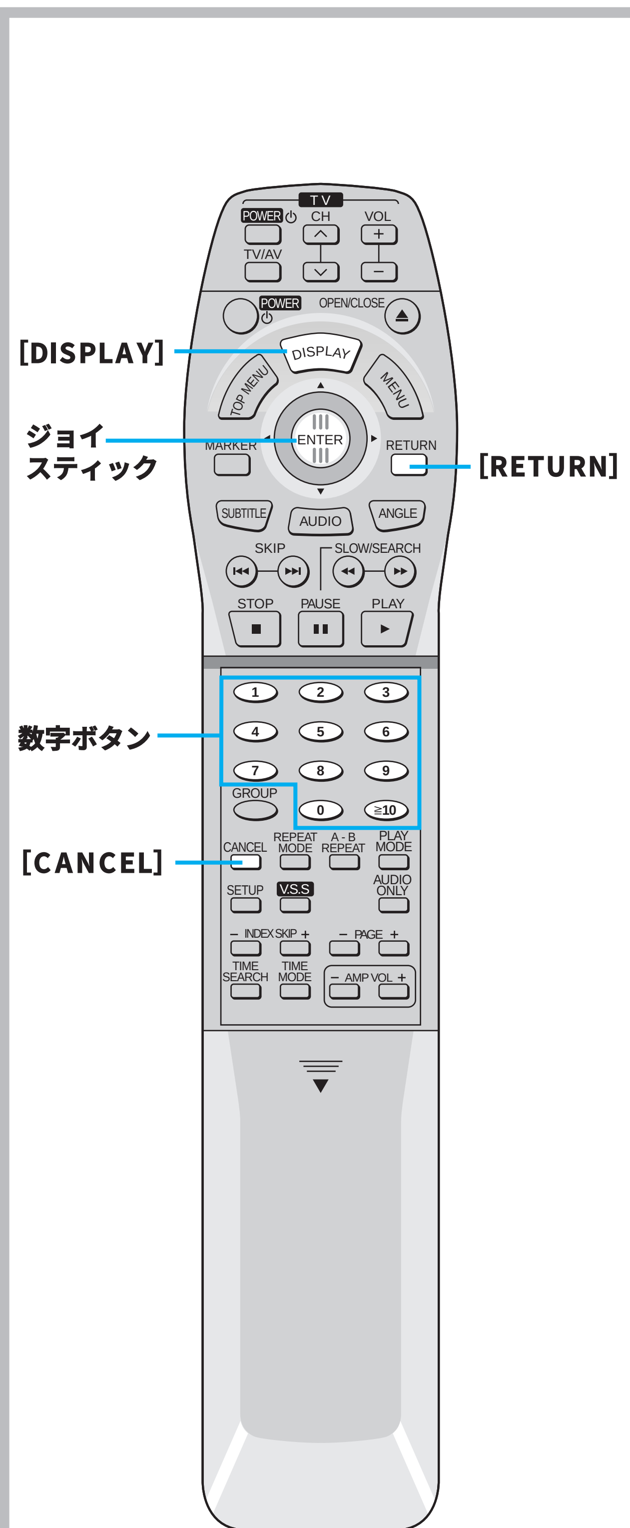
［+］：上がる
［−］：下がる

お知らせ

テレビやアンプによっては、操作できない機種もあります。（セパレートアンプは操作できません。）

絵表示を使って操作する(GUI)

DVD-A DVD-V VCD CD



GUI(Graphical User Interface)(グラフィカル ユーザー インターフェイス)とは「画面の絵表示を使って操作する」という意味です。本機の場合は、ディスク情報や本機の情報などを表示する細長い画面を「GUI 画面」と呼びます。

GUI で行える操作項目には、他の独立したボタンで操作できるもの(前ページまでの操作)と、GUI でしか操作できないものがあります。

GUI 専用の操作 (⇒ 31ページ)

- **セリフのみ音量を上げる(シネマボイスモード)**
- **画質を調整する(シネマ画質など)**
- **V.S.S. モードを選ぶ**
- **マスターボリューム(本機の出力レベル)を調整する**

GUI の基本操作

再生中または静止中に

1 **[DISPLAY]**(ディスプレイ) を押して
GUI 画面を選ぶ。
- 押すたびに切り換わります。(⇒ 右ページ)

2 **ジョイスティック(◀▶)** で
表示(操作項目)を選ぶ。

3 **内容を選択または実行する。**
- 各項目ごとの操作は 29~31 ページをご覧ください。
  選択数字が表示される項目は、数字ボタンを押しても選べます。
- GUI 以外でも行える項目の詳細は、前ページまでの該当箇所をご覧ください。

■ GUI 画面を消すには

[CANCEL] または [RETURN] を押す。

お知らせ

- GUI 画面の一部が欠けたり、表示されなかったりするときは、初期設定画面でオンスクリーンの変更をしてください。(⇒ 36 ページ)

画面表示

GUI には 3 つの画面があり、ディスクによって内容が異なります。
ディスク情報画面：トラック／チャプターの選択や、音声切り換えなどが行えます。
本機の情報画面：繰り返し再生や、好みの場所をマークするなどが行えます。
シャトル画面：早送り／早戻しや、スロー再生などが行えます。

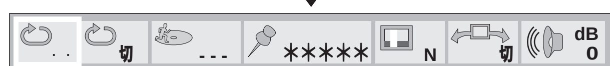
表示例

DVD オーディオ

ディスク情報画面



本機情報画面



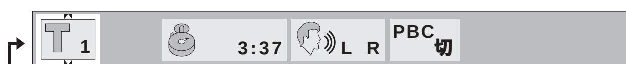
シャトル画面



GUI の画面無し

ビデオ CD

ディスク情報画面



本機情報画面



シャトル画面



GUI の画面無し

DVD ビデオ

ディスク情報画面



本機情報画面



シャトル画面

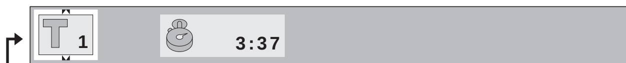


GUI の画面無し

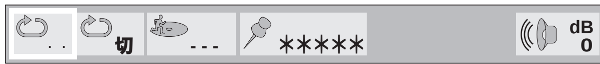
DVD オーディオの動画部分を再生した場合もほぼ同じ画面になります。

音楽 CD

ディスク情報画面



本機情報画面

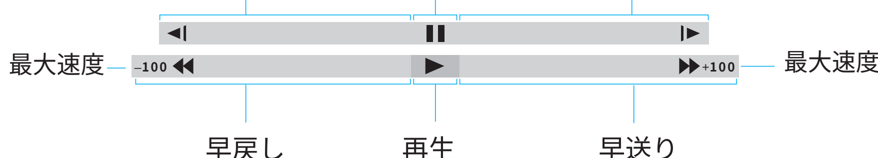


シャトル画面

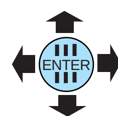


GUI の画面無し

シャトル画面



操作方法



操作項目を
選ぶ

（スロー再生、早送り／戻しのみ）



速度（5 段階）を
選ぶ

ディスク情報画面

表示（操作項目）	選択または実行内容	操作方法
G 1	**グループ番号**（DVD オーディオ）	↕ ENTER 選んで押す
T 1	**トラック番号**（DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD） **タイトル番号**（DVD ビデオ ）	↕ ENTER 選んで押す
C 1	**チャプター番号**（DVD ビデオ）	↕ ENTER 選んで押す
1:56:37	**時間**（再生場所を時間で指定する）（DVD）	数字ボタンを押す 例：1 時間 56 分 37 秒 1→5→6→3→7 ↓ ENTER 押す
	再生時間の表示モード（DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD） （例：トラック経過時間→トラック残り時間→ディスク残り時間）	↕ ENTER 選ぶ
（例 1） ⓐ ⓑ 1 LPCM 1 192k 24b 2ch ⓒ （例 2） ⓐ ⓑ LPCM 1 英 48k 16b ⓓ ⓒ	**音声番号**（DVD） ⓐ 音声番号 ⓑ 信号タイプ LPCM（リニア PCM）／PPCM（パックド PCM）／ DD（ドルビーデジタル）／DTS／MPEG／Vocal ⓒ 信号データ k（サンプリング周波数）／b（ビット数）／ch（チャンネル数） ⓓ 音声言語記号 **日** 日本語　**伊** イタリア語　**露** ロシア語 **英** 英語　**西** スペイン語　**韓** 韓国語 **仏** フランス語　**蘭** オランダ語　**＊** その他 **独** ドイツ語　**中** 中国語	↕ ENTER 選ぶ **カラオケ DVD（“Vocal” 表示）のとき** ボーカル音声が次のように切り換わります。 ソロカラオケのとき ---（切）→ 入 デュエットカラオケのとき ---（切）→ V1+V2（デュエット）→ V1（ボーカル1）→ V2（ボーカル2）
L R	**音声モード**（ビデオ CD） LR（左右 ch から出力）→L（左 ch のみ）→R（右 ch のみ）	↕ ENTER 選ぶ
Page 1	**静止画のページ番号**（DVD オーディオ）	↕ ENTER 選んで押す “ Return ” が表示され、選ぶとメニュー画面に戻るディスクもあります。
ⓐ ⓑ 入 1 英	**字幕**（DVD ビデオ） ⓐ **字幕言語番号** ⓑ **字幕の入／切** （「英」などの言語記号については上記参照）	⇔ ENTER ⓐまたはⓑを選ぶ ↓ ↕ ENTER 選ぶ
1	**アングル番号**（DVD ビデオ）	↕ ENTER 選ぶ
PBC 切	**メニュー再生**（ビデオ CD） 入／切の状態表示	ここでは変更できません （⇒ 17 ページ）

お知らせ（全 GUI 画面共通）

- 本機の動作状態（再生中、停止中など）によって選べない操作項目があります。また、ソフトの作りかたや再生状態（メニュー表示中など）によって操作できない項目もあります。

本機情報画面

表示（操作項目）		選択または実行内容	操作方法
		A-B リピート再生の始点（A）と終点（B）	ENTER 始点と終点でそれぞれ押す 解除するには再度押す
	切	**リピート再生モード** DVD オーディオ／ビデオ CD／音楽 CD のとき： T（トラック）→ A（オール）／G（グループ）→ 切 DVD ビデオのとき： C（チャプター）→ T（タイトル）→ 切	ENTER 選ぶ
	---	**再生モード**（DVD オーディオ、ビデオ CD、音楽 CD） --（通常）／ALL（オールグループ）／PGM（プログラム）／RND（ランダム）	ここでは変更できません
	＊＊＊＊＊	**マーカー** マークを付ける（5 箇所まで）　マーク番号 1 2＊＊＊	ENTER マークを付けたい場所で 2 回押す 2 つ目からは＊を選んで押す
		マークを呼び出す	ENTER 番号を選んで押す
		マークを消す	ENTER マーク番号を選んで ↓ CANCEL 押す
GUI専用の操作	切	**シネマボイスモード**（センター ch の収録された DVD） 入（セリフのみ音量を上げる）→ 切	ENTER 選んで押す
	N	**画質モード**（DVD、ビデオ CD） N（通常）→ U → C → F → S U（ユーザー）：以下の画面が出て各種調整が行えます。 **コントラスト**（−7～＋7）　**シャープネス**（−1～＋1） 0　0　0　0 **カラー**（−7～＋7）　**ブライトネス**（0～15） C（シネマ）：映画スクリーンのイメージにする。 F（ファイン）：輪郭を強調してくっきりした画質にする。 S（ソフト）：ノイズの少ない柔らかな画質にする。	ENTER 選ぶ U（ユーザー）のとき ENTER 押して ↓ ENTER 調整項目を選び ↓ ENTER レベル数値を選ぶ 調整が終わったら押す
	切	**V.S.S. モード**（ドルビーデジタル 2 ch 以上の DVD） （通常）→ （ヘッドホン V.S.S.） それぞれで V.S.S. の強さを選べます。 1（標準）→ 2（強）→ 切	ENTER モードを選ぶ ENTER 強さを選ぶ
	dB 0	**マスターボリューム**（アナログ出力のみ） 0 dB（最大）～ −127 dB（最小）、−∞（消音） DVD、ビデオ CD、音楽 CD それぞれで設定できます。	ENTER 選ぶ

● シネマボイスモードはセンター ch の音量を上げるもので、他のチャンネルのセリフには効果がありません。

言語・表示・視聴制限などを設定する

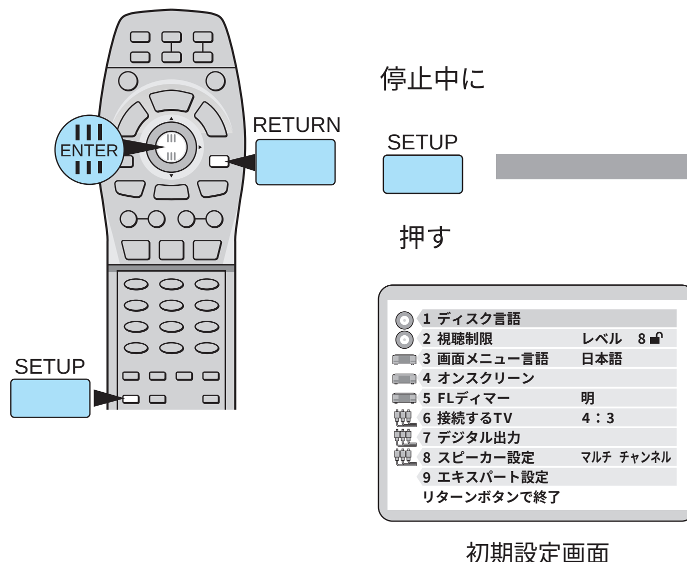
DVD の再生に関する設定や、テレビ画面表示のしかたなどいろいろな設定が行えます。
設定項目には、通常操作や GUI 画面でそのつど行えるものもありますので、用途に応じてご利用ください。

ディスク言語（DVD）（⇒ 下記） 音声、字幕や、メニュー画面の言語をあらかじめ設定しておくことができます。	**視聴制限（DVD ビデオ）**（⇒ 34 ページ） 視聴制限の記録されたディスクやタイトルの再生を、そのレベルに従って制限します。	**画面メニュー言語**（⇒ 36 ページ） テレビ画面に出てくる操作関係の表示を、日本語と英語に設定できます。

ディスク言語（DVD）の設定

DVD を再生したときに、最初に選ばれる言語を設定します。以下の種類があります。

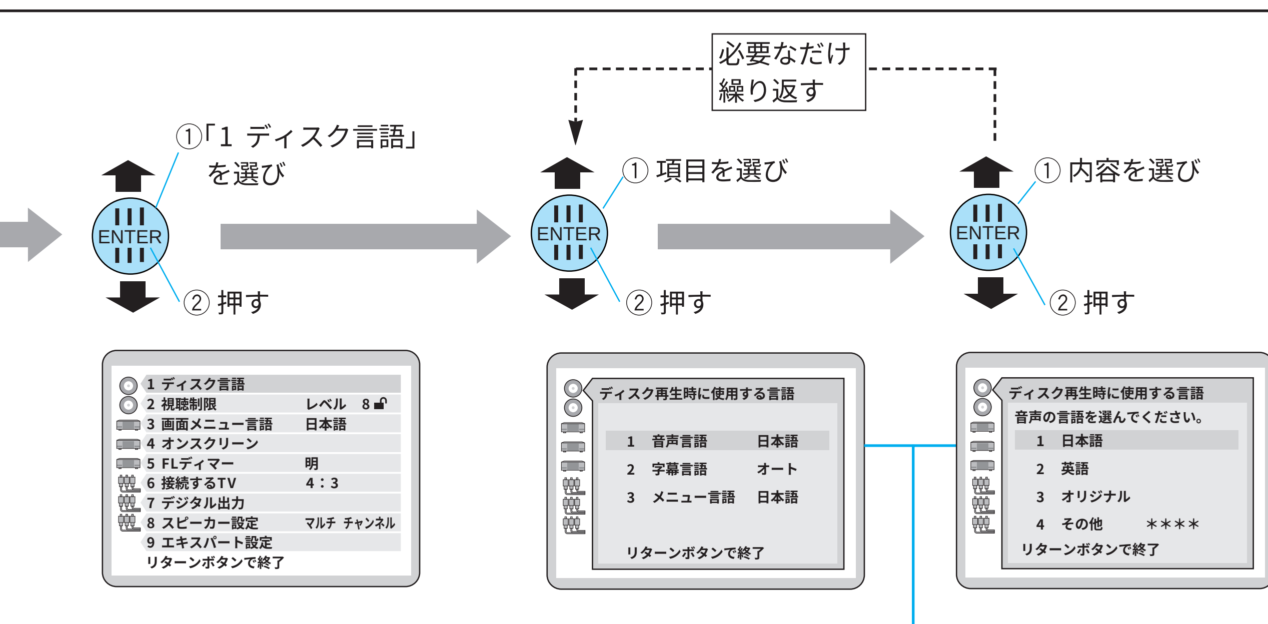
- **音声言語**
- **字幕言語**
- **メニュー言語**



初期設定画面

■「2 字幕言語」でオートを選んだ場合
たとえば「1 音声言語」で日本語を選んでいるとき、日本語で再生すれば字幕は出ません。英語など他の言語で再生したときは日本語の字幕が出ます。

オンスクリーン（⇒ 36 ページ） テレビ画面に操作の表示が出る／出ないを設定したり、表示の色なども設定できます。	**FL ディマー**（⇒ 36 ページ） 本機表示窓の明るさを設定できます。	**エキスパート**（⇒ 38 ページ） 早送り時の音のあり／なしや、ダイナミックレンジ圧縮など、さまざまな設定が行えます。



項目	1 音声言語	2 字幕言語	3 メニュー言語
内容	1 日本語（工場出荷時） 2 英語 3 オリジナル ディスクの最優先言語で再生したいとき 4 その他 上記以外の言語で再生したいとき 画面の指示に従って希望の言語番号（4 桁）を入力してください。（言語番号一覧表 ⇒ 49 ページ）	1 オート（工場出荷時） 音声言語に合わせて自動設定したいとき（⇒ 下記） 2 日本語 3 英語 4 その他 上記以外の言語で再生したいとき 画面の指示に従って希望の言語番号（4 桁）を入力してください。（言語番号一覧表 ⇒ 49 ページ）	1 日本語（工場出荷時） 2 英語 3 その他 上記以外の言語で再生したいとき 画面の指示に従って希望の言語番号（4 桁）を入力してください。（言語番号一覧表 ⇒ 49 ページ）

■ 1 つ前の画面に戻るには

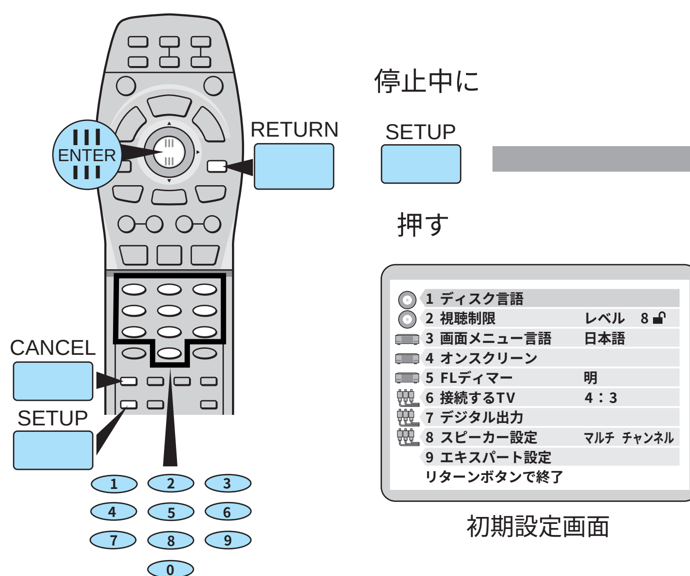
［RETURN］を押す。
変更した内容は無効になります。

■ 初期設定画面を消すには

元の画面に戻るまで［RETURN］を何度か押す。

視聴制限の設定（DVD ビデオ）

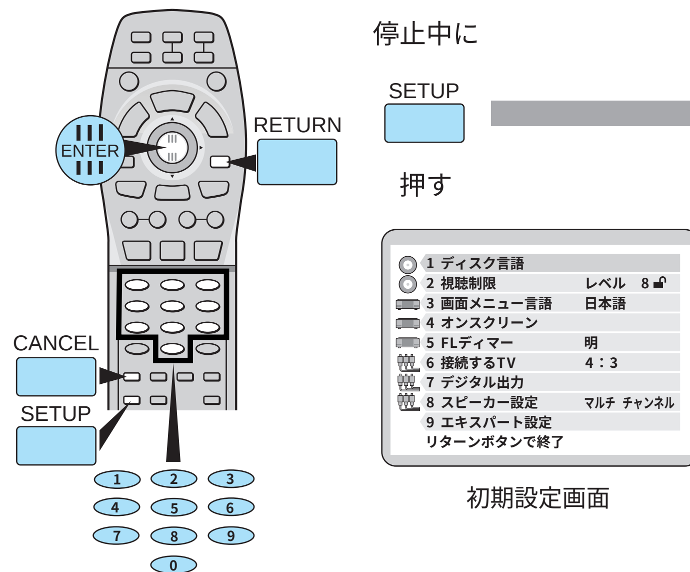
DVD ビデオに視聴制限レベルが記録されている場合は、ここで設定したレベルに応じて自動的に再生を禁止します。
制限レベルのない成人ソフトなどの場合は、レベル 0（すべて不可）を選ぶことで全面的に再生を禁止することができます。



視聴制限の変更（DVD ビデオ）

- **視聴制限（ロック）の解除**
- **暗証番号の変更**
- **レベルの変更**
- **一時解除**

  本機の電源を切るか、ディスクを取り出すまで、一時的に制限を解除します。



■ 設定レベル以下の DVD ビデオディスクを入れると

下の画面になります。この状態から視聴制限を一時的に解除することができます。（電源を切るか、ディスクを取り出すと再び制限されます。）

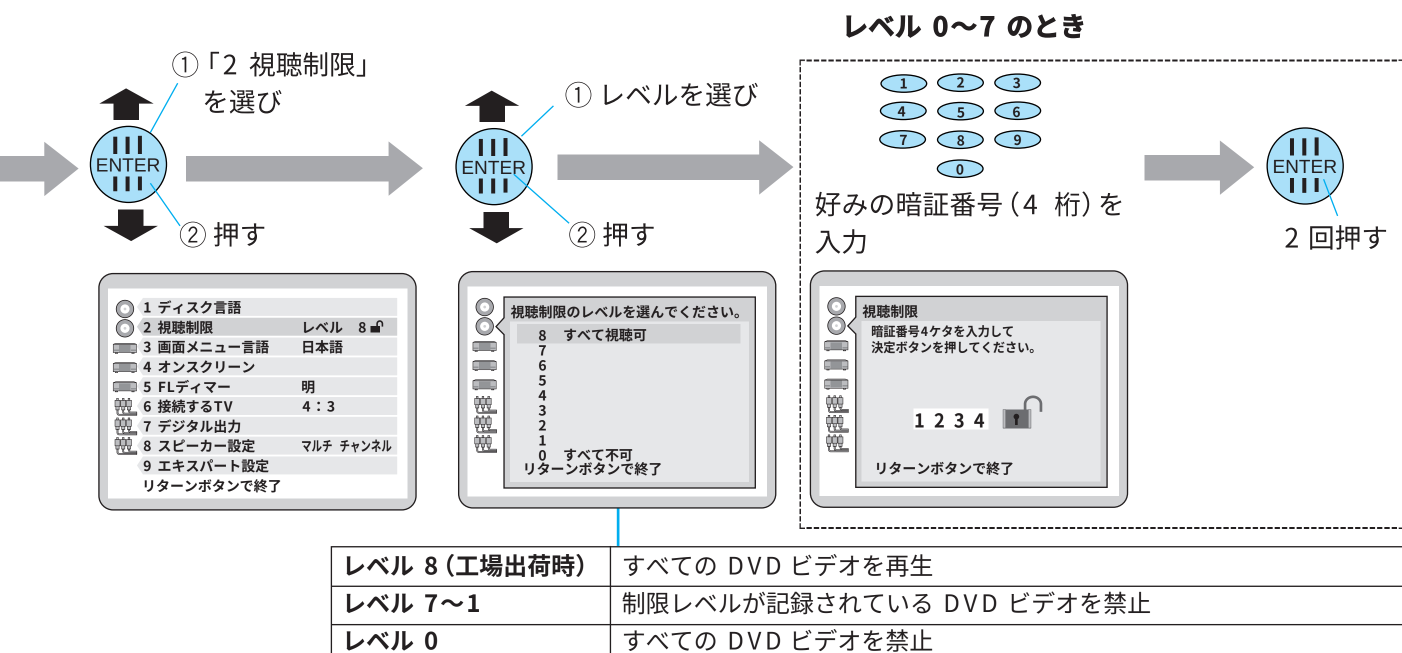
このタイトルはプレーヤーの視聴制限レベルをこえています。
視聴制限のレベルを一時的に変更しますか？
する
しない

1. ジョイスティックで「する」または「しない」を選び、ジョイスティックを押す。

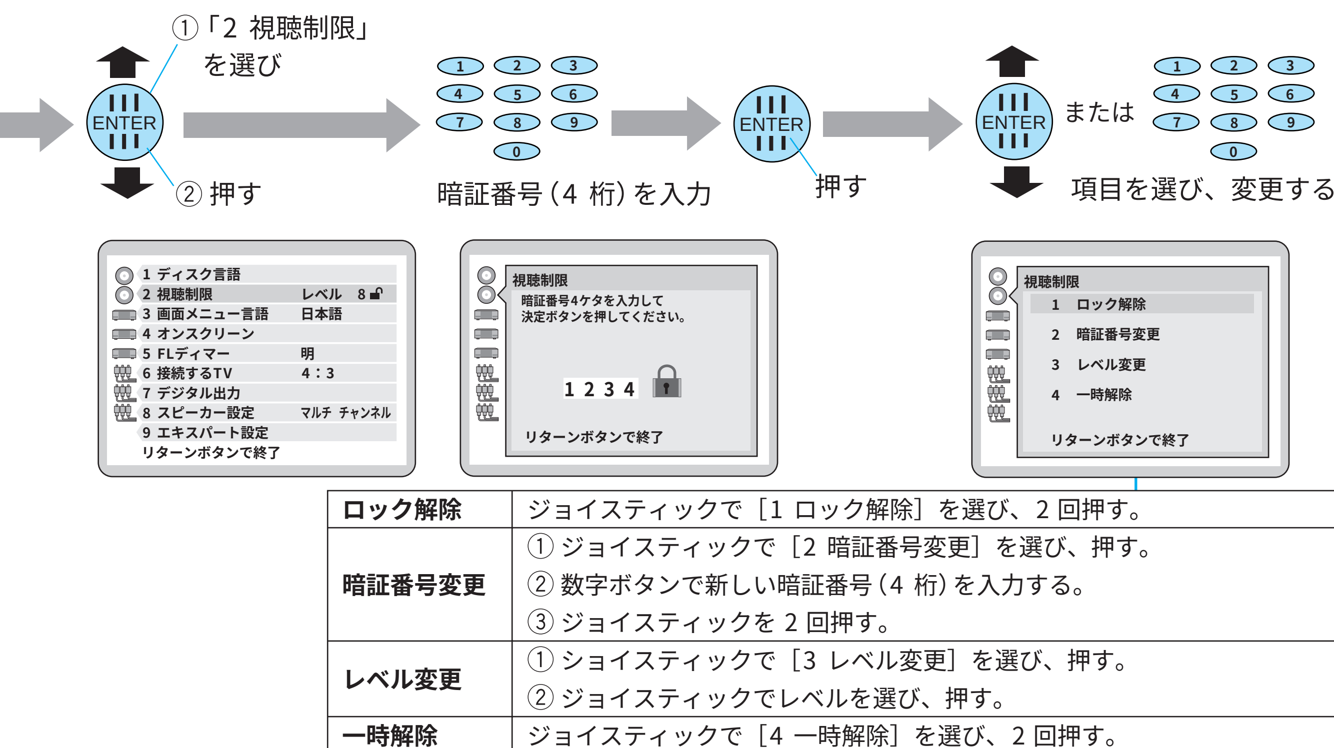
「する」を選んだ場合のみ

2. 暗証番号を入力する。
3. ジョイスティックを 2 回押す。

暗証番号は、忘れないようにしてください。視聴制限を設定すると、暗証番号を入力しない限り変更や解除ができなくなります。



レベル 8（工場出荷時）	すべての DVD ビデオを再生
レベル 7〜1	制限レベルが記録されている DVD ビデオを禁止
レベル 0	すべての DVD ビデオを禁止



ロック解除	ジョイスティックで［1 ロック解除］を選び、2 回押す。
暗証番号変更	① ジョイスティックで［2 暗証番号変更］を選び、押す。 ② 数字ボタンで新しい暗証番号（4 桁）を入力する。 ③ ジョイスティックを 2 回押す。
レベル変更	① ジョイスティックで［3 レベル変更］を選び、押す。 ② ジョイスティックでレベルを選び、押す。
一時解除	ジョイスティックで［4 一時解除］を選び、2 回押す。

■ 1 つ前の画面に戻るには

［RETURN］を押す。
変更した内容は無効になります。

■ 暗証番号を押し間違えたときは

［CANCEL］を押す。

■ 初期設定画面を消すには

元の画面に戻るまで［RETURN］を何度か押す。

使いかた

画面メニュー言語の設定

初期設定画面の言語や、操作時テレビ画面に表示される言語を設定します。（日本語、英語のみ）

ENTER
RETURN
SETUP

停止中に
SETUP
押す

1 ディスク言語	
2 視聴制限	レベル 8
3 画面メニュー言語	日本語
4 オンスクリーン	
5 FLディマー	明
6 接続するTV	4：3
7 デジタル出力	
8 スピーカー設定	マルチ チャンネル
9 エキスパート設定	
リターンボタンで終了	

初期設定画面

オンスクリーンの設定

テレビ画面に「再生」などの文字を出さないようにしたり、画面表示（GUI 含む）の色や位置を設定できます。

ENTER
RETURN
SETUP

停止中に
SETUP
押す

1 ディスク言語	
2 視聴制限	レベル 8
3 画面メニュー言語	日本語
4 オンスクリーン	
5 FLディマー	明
6 接続するTV	4：3
7 デジタル出力	
8 スピーカー設定	マルチ チャンネル
9 エキスパート設定	
リターンボタンで終了	

初期設定画面

FL ディマーの設定

本体表示窓の明るさを設定します。

ENTER
RETURN
SETUP

停止中に
SETUP
押す

1 ディスク言語	
2 視聴制限	レベル 8
3 画面メニュー言語	日本語
4 オンスクリーン	
5 FLディマー	明
6 接続するTV	4：3
7 デジタル出力	
8 スピーカー設定	マルチ チャンネル
9 エキスパート設定	
リターンボタンで終了	

初期設定画面

■ 画面表示の位置について

表示が画面から切れるような場合は、オンスクリーン設定の「色と位置」で、4、5 または 6 を選んでください。

1 日本語（工場出荷時）
2 English（英語）

項目	1 画面メッセージ	2 色と位置
内容	1 入（工場出荷時） テレビ画面に「再生」や「停止」などの文字が表示されます。 2 切 文字は出ません。	1 青色（工場出荷時） 2 紫色 3 緑色 4 青色 5 紫色 6 緑色 （4～6）やや下に表示したいとき（⇒ 下記）

1 常時 明（工場出荷時）
2 常時 暗
3 DVD/VCD 再生時 暗（オート）
4 再生時 切（オート）
3 と 4 は、暗くしたお部屋で映画鑑賞をするときなどに便利です。この場合、早送り／早戻しやスロー再生などの操作を行ったときのみ、一時的に明るくなります。また 3 と 4 のときは本機の照明も切になります。

■ 1 つ前の画面に戻るには

［RETURN］を押す。
変更した内容は無効になります。

■ 初期設定画面を消すには

元の画面に戻るまで［RETURN］を何度か押す。

エキスパート設定

本機をより便利に使うための特殊な設定や、接続のしかたに応じた設定変更などが行えます。

● **スチルモード**
静止画面のブレを抑えたいときや、画質をよくしたいときに設定します。

● **早送り時の音声**
早送りのときに再生音が出る／出ないを設定します。

● **TV モード（4：3）**
従来サイズのテレビで、ワイドソフトを再生するときの設定を行います。

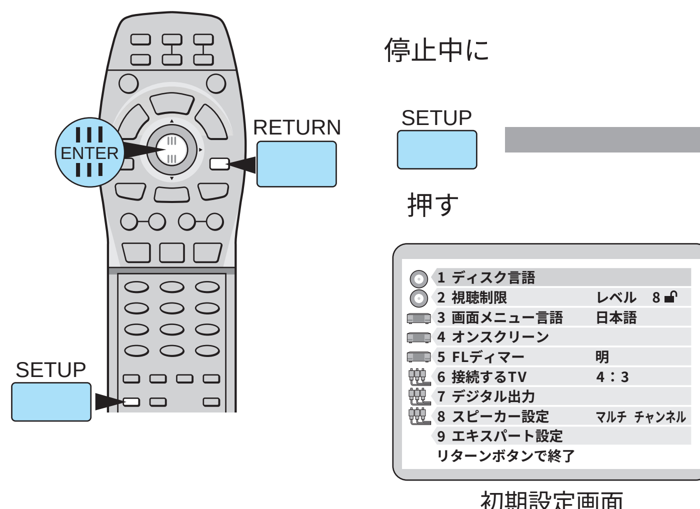
● **音声のダイナミックレンジ圧縮**
DVD のダイナミックレンジ（音量大小の差）を少なくすることができます。

● **RE-MASTER**
Re-master 機能を切／入します。

● **I/P/B インジケーター**
静止時に、画像の種類（I/P/B）を表示する／しないを設定します。

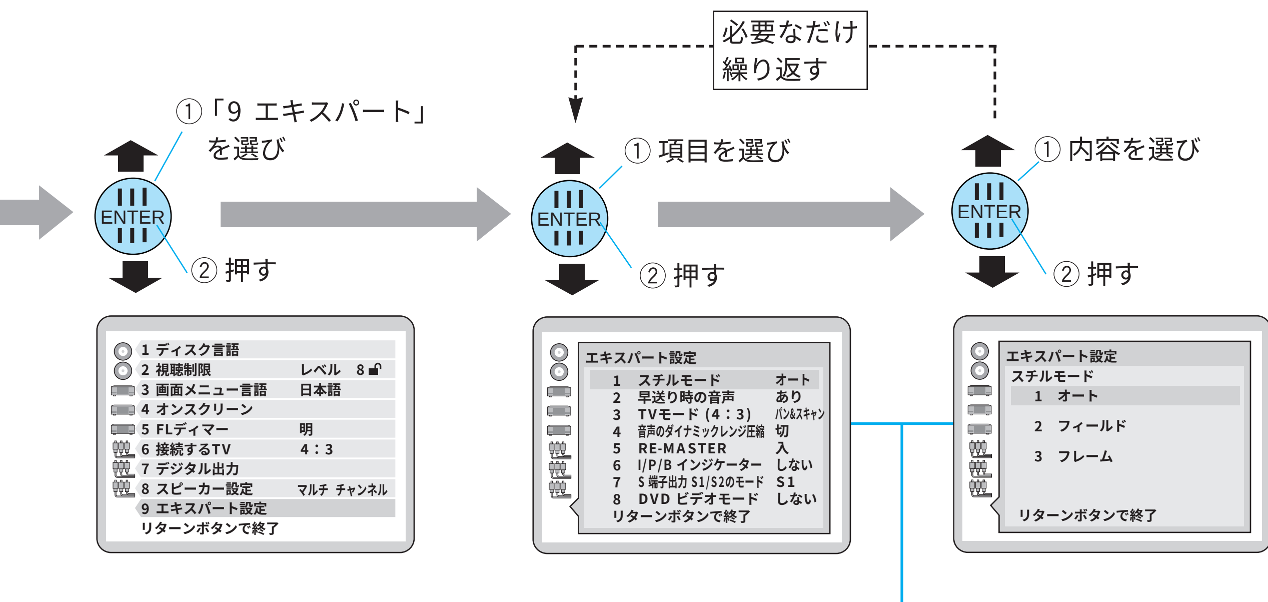
● **S 端子出力 S1／S2 のモード**
後面 S 端子への接続に合わせて設定します。

● **DVD ビデオモード**
DVD オーディオディスクを DVD ビデオとして再生します。



初期設定画面

項目	1 スチルモード	2 早送り時の音声
内容	**1 オート（工場出荷時）** 通常はこのモードにします。フィールドスチルとフレームスチルを自動的に切り換えます。 **2 フィールド** 静止画面が常にぶれないようにするとき。 ただし、映像情報がフレームの半分になるため画質は落ちます。 **3 フレーム** 静止画面を常に良い画質にしたいとき。 ただし、フィールドが交互に映し出されるため、画面はぶれます。 **ご参考** フィールド、フレームについては「用語解説」をご参照ください。（⇒ 53 ページ）	**1 あり（工場出荷時）** 早送り時に再生音を出したいとき。 **2 なし** 早送り時に再生音を出したくないとき。 （この設定は DVD ビデオとビデオ CD のみ有効です。）



3 TV モード（4：3）	4 音声のダイナミックレンジ圧縮	6 I/P/B インジケーター	7 S 端子出力 S1/S2 のモード	8 DVD ビデオモード
1 パン & スキャン（工場出荷時） ワイド画面のソフトを 4：3 サイズのテレビで見る場合に、画面を大きくしたいとき。 サイズをテレビ画面の上下に合わせるため、左右が少し切れます。 （パン＆スキャン指定されていないソフトは、レターボックスで再生されます。） **2 レターボックス** ワイド画面のソフトを 4：3 サイズのテレビで見る場合に、全部画面に映したいとき。 サイズをテレビ画面の左右に合わせるため、上下が余って黒い帯状になります。	**1 切（工場出荷時）** 標準の音量で聞くとき。 **2 入** 最大音量と最小音量の差を小さくして聞くとき。 ドルビーデジタルのソフトでのみ行えます。 たとえば、夜半に映画を鑑賞するときにセリフがはっきり聞こえる程度の音量にしておいても、大音量時のレベルが通常より低くなります。 **5 RE-MASTER** **1 入（工場出荷時）** **2 切**	**1 しない（工場出荷時）** 静止時に画像の種類（I/P/B）を表示させないとき。 **2 する** 静止時に画像の種類（I/P/B）を表示させるとき。 「2 する」に設定すると、静止時に次のような表示がでます。 スチル（P） **ご参考** I/P/B については「用語解説」をご参照ください。 （⇒ 53 ページ）	**1 S1（工場出荷時）** テレビの S または S1 映像入力端子に接続しているとき。 ワイド画面のソフトを再生すると、テレビ画面が自動的に「フル」モードに切り換わります。 **2 S2** テレビの S2 映像入力端子に接続しているとき。 S1 の機能に加え、レターボックスのソフトを再生すると、テレビ画面が自動的に「ズーム」モードに切り換わります。	**1 しない（工場出荷時）** DVD オーディオをそのまま再生するとき。 **2 する** 本機を DVD ビデオ専用機にして DVD オーディオディスクを再生するとき。 動画部分のメニューをすべて使えるようになります。 **お知らせ** ディスクを取り出したり、電源を切ると“ しない ”に戻ります。

■ 1 つ手前のメニューに戻るには
［RETURN］を押す。
変更した内容は無効になります。

■ 初期設定画面を消すには
元の画面に戻るまで［RETURN］を何度か押す。

アンプやスピーカーを使ってシステムアップする ― 接続・設置早見表

本機を使った音響システムを組む場合は、以下の表を参考に必要な接続や設定を行ってください。
くわしくは、各ページをご覧ください。

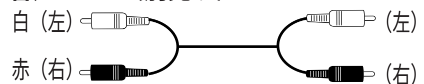
こんなときは	接続機器 *1	デジタル出力の設定 (⇒ 44 ページ)	スピーカーの設定 (⇒ 46 ページ)
A **フロントスピーカー（2 ch）で再生したい**	●アンプ ●フロントスピーカー （⇒ 41 ページ）	●PCM ダウンサンプリング変換を " しない " に設定	設定不要 （5.1 ch 音声出力端子を使用する場合は、フロント 2 ch 以外を " なし " に設定）
B **DVD の 5.1ch サラウンドサウンドを楽しみたい** **（内蔵のデコーダーを使う場合）**	●5.1 ch 入力を持つアンプ ●5.1 ch 用スピーカーシステム （⇒ 41、42 ページ）	●PCM ダウンサンプリング変換を " しない " に設定	●接続した全スピーカーを " あり " に設定 ●出力バランス ●ディレイタイム
C **DVD の 5.1ch サラウンドサウンドを楽しみたい** **（別売りのデコーダーを使ってシステムを拡張する場合）**	●デコーダー ●5.1 ch 入力を持つアンプ ●5.1 ch 用スピーカーシステム （⇒ 42 ページ）	●PCM ダウンサンプリング変換を " する " に設定 ●Dolby Digital と DTS Digital Surround を " Bitstream " に設定 *2	設定不要 スピーカーの設定はデコーダーで行ってください。
D **2 ch デジタルアンプと接続したい**	●2 ch デジタルアンプ （⇒ 43 ページ）	●PCM ダウンサンプリング変換を " する " に設定 ●Dolby Digital と DTS Digital Surround を " PCM " に設定	設定不要
E **MD などでデジタル信号のまま録音したい** **（デジタル録音）** *3	●MD デッキなど （⇒ 43 ページ）	●PCM ダウンサンプリング変換を " する " に設定 ●Dolby Digital と DTS Digital Surround を " PCM " に設定	設定不要
F **カセットデッキなどで録音したい** **（アナログ録音）**	●カセットデッキなど ●アンプ （⇒ 43 ページ）	●PCM ダウンサンプリング変換を " しない " に設定	設定不要
G **スピーカー 3 つ、あるいは 4 つで接続したい。** （接続図は **B** を参照）	●5.1 ch 入力を持つアンプ ●お手持ちのスピーカー *4 （⇒ 41、42 ページ）	●PCM ダウンサンプリング変換を " しない " に設定	●接続したスピーカーだけを " あり " に設定 ●出力バランス ●ディレイタイム

*1 接続機器は一例です。
*2 dts に対応していないデコーダーの場合は、Dolby Digital を Bitstream に、DTS Digital Surround を PCM に設定してください。
*3 デジタル録音機器は、サンプリング周波数が 48 kHz/16 bit に対応したものをご使用ください。
ディスクにコピーガードが入っている場合は、デジタル録音できません。
*4 たとえばスピーカーが 3 つのときはフロントとセンター、4 つのときはフロントとサラウンドに接続します。

お願い

フロントスピーカー以外にスピーカーをお使いになる場合、V.S.S.（バーチャルサラウンドサウンド）は必ず解除してください。レベル 1 や レベル 2 になっていると、フロント以外のスピーカーから音が出ません。

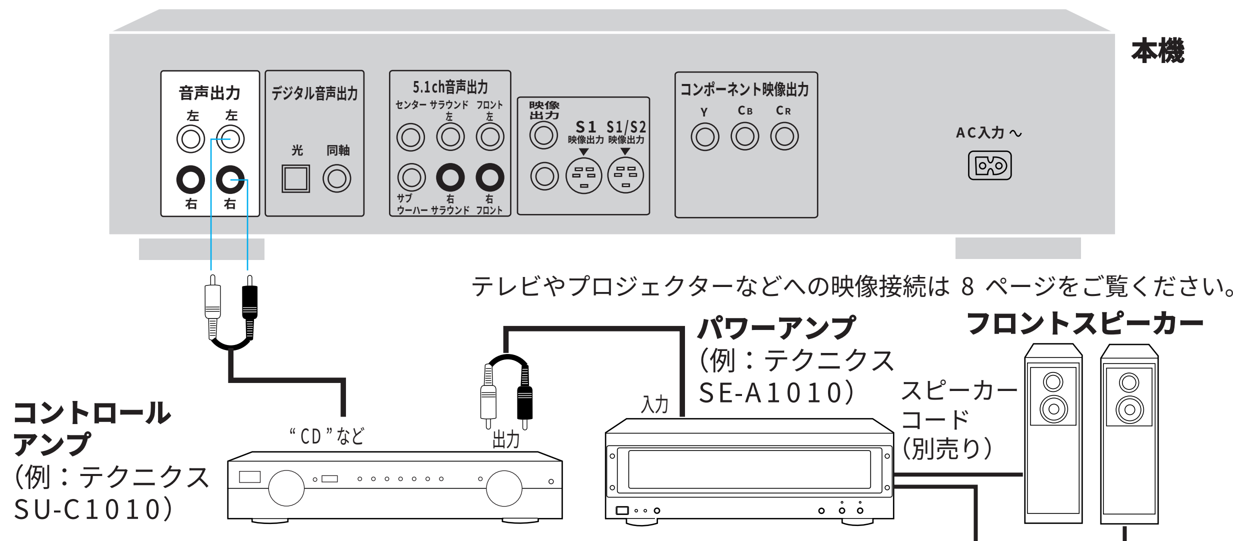
いろいろな接続のしかた



接続の際にはアンプやスピーカーなどの説明書も併せてお読みください。

A　フロントスピーカー（2ch）で再生するには（基本システム）

DVD オーディオの高音質を楽しむための基本システムです。



B　5.1 ch サラウンドシステムを組むには（基本システム）

DVD オーディオや DVD ビデオのサラウンドサウンドを再生するためのシステムです。

例 1：セパレートアンプ（DVD 5.1 ch 入力付き）を使う場合

本機

音声出力　左　右

デジタル音声出力　光　同軸

5.1ch音声出力　センター　サラウンド　フロント　サブウーハー　右　右

映像出力　S1　S1/S2

コンポーネント映像出力　Y　CB　CR

AC入力～

テレビやプロジェクターなどへの映像接続は 8 ページをご覧ください。

コントロールアンプ
（例：テクニクス SU-C1010）

"CD" など

センター　サブウーハー　サラウンド 左 右　フロント 左 右　DVD-6CH 入力

センター　サブウーハー　サラウンド 左 右　フロント 左 右　出力

パワーアンプ
（例：テクニクス SE-A1010）

入力　入力　入力

スピーカーコード
（別売り）

フロントスピーカーへ

サラウンドスピーカーへ

サブウーハーへ

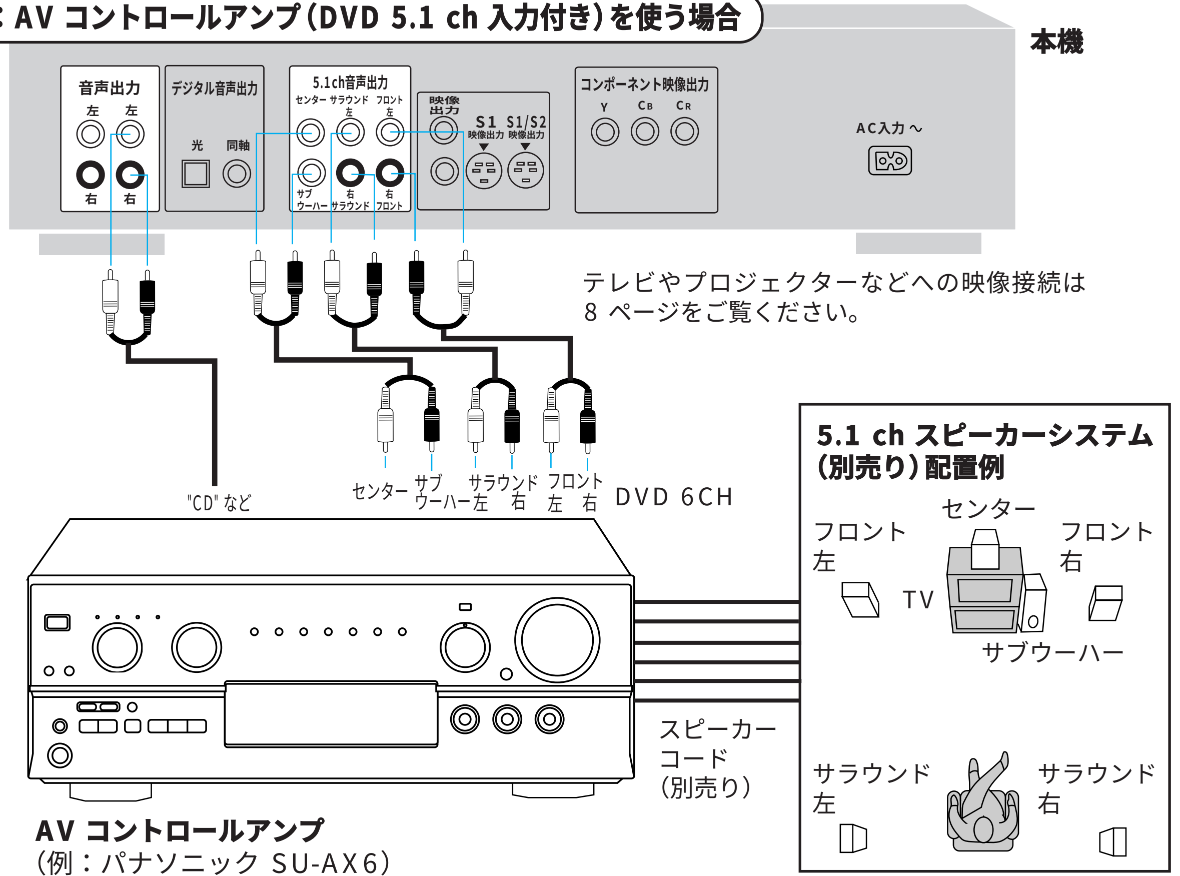
センタースピーカーへ

5.1 ch スピーカーシステム（別売り）配置例

センター　フロント左　フロント右　TV　サブウーハー　サラウンド左　サラウンド右

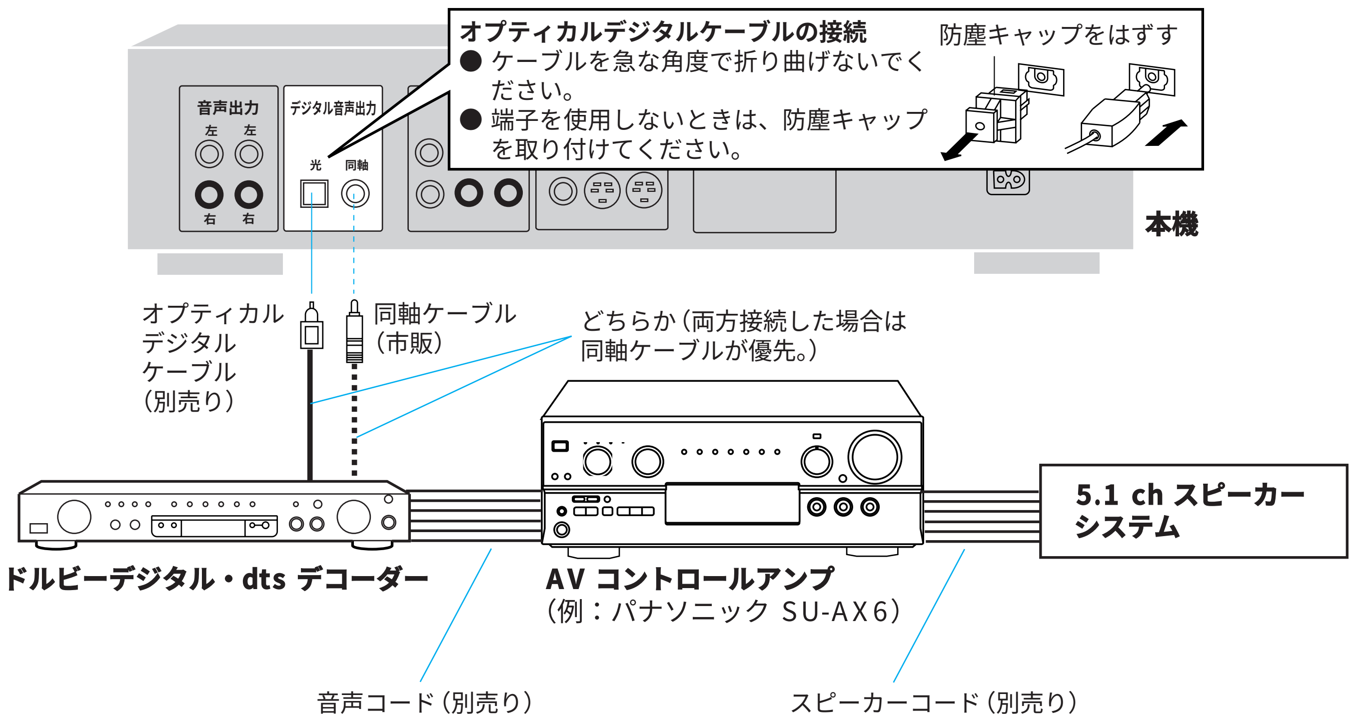
5.1 ch サラウンドシステムを組むには（つづき）

例 2：AV コントロールアンプ（DVD 5.1 ch 入力付き）を使う場合

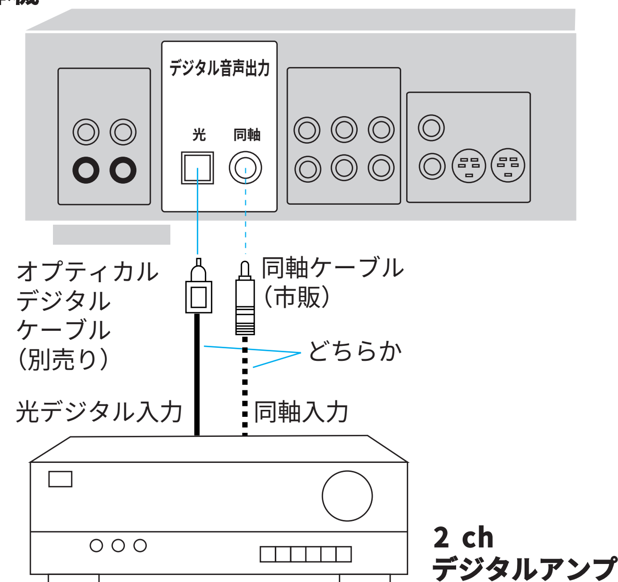


C 別売りのデコーダーを使って 5.1 ch サラウンドシステムを組むには

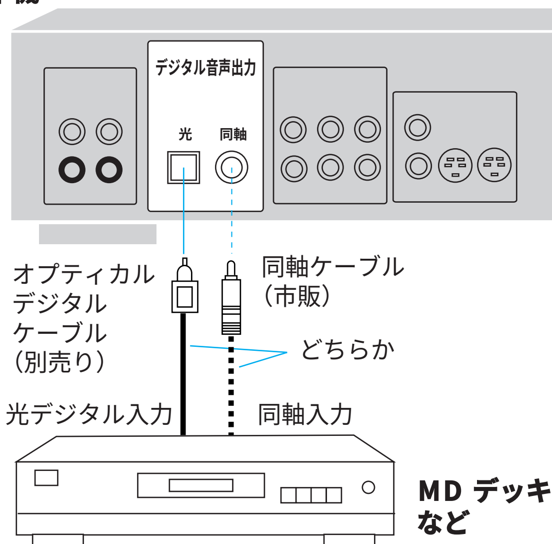
入力端子が複数あるドルビーデジタル・dts デコーダーを接続すると、システムを拡張する場合に便利です。（くわしくはデコーダーの説明書をご覧ください。）



D 2 ch デジタルアンプと接続するには

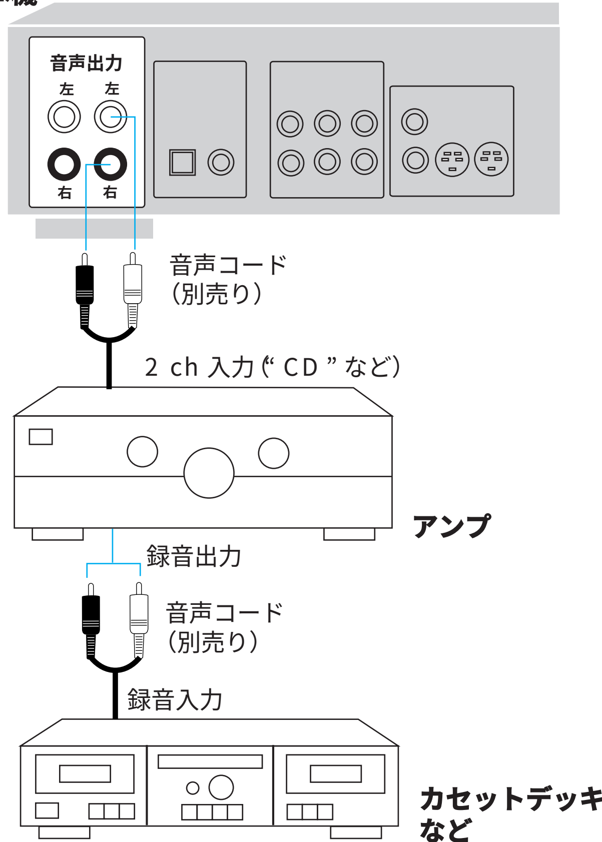


E MD などにデジタル録音するには



F アンプに接続したデッキで録音するには

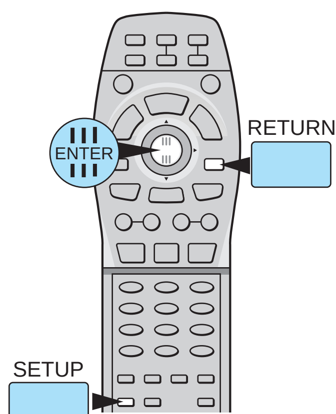
アンプを「音声出力」端子（空いている方）に接続してください。5.1 ch 接続のみの場合は、フロントチャンネルの音声しかデッキに出力されません。



デジタル出力の設定

各機器との接続方法に応じて、本機の光／同軸端子から出るデジタル音声信号の種類を選びます。

- **PCM ダウンサンプリング変換**
  DVD ビデオの 96 kHz 音声信号を、48 kHz/16 bit に変換する／しないを選びます。
- **Dolby Digital**
  接続に応じて、ドルビーデジタルの信号をそのままの状態（Bitstream）で出力するか、デコーダーを通さなくても聞ける状態（PCM 2 ch）に処理して出力するかを選びます。
- **DTS Digital Surround**
  上記のドルビーデジタルと同様の選択を、dts 信号に対して行います。



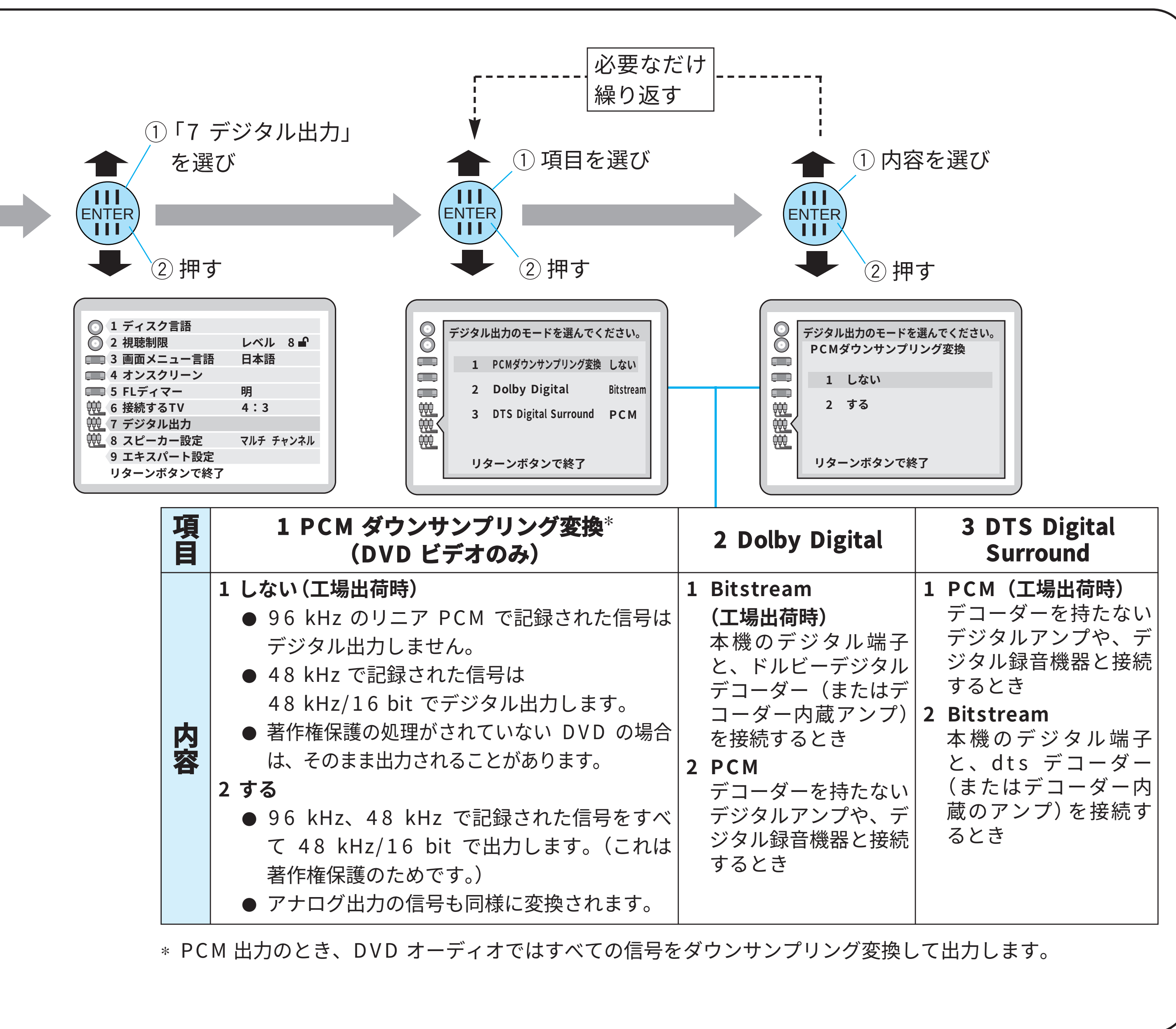
停止中に

SETUP

押す

1 ディスク言語	
2 視聴制限	レベル 8
3 画面メニュー言語	日本語
4 オンスクリーン	
5 FLディマー	明
6 接続するTV	4：3
7 デジタル出力	
8 スピーカー設定	マルチ チャンネル
9 エキスパート設定	
リターンボタンで終了	

初期設定画面



項目	1 PCM ダウンサンプリング変換* （DVD ビデオのみ）	2 Dolby Digital	3 DTS Digital Surround
内容	**1 しない（工場出荷時）** ● 96 kHz のリニア PCM で記録された信号はデジタル出力しません。 ● 48 kHz で記録された信号は 48 kHz/16 bit でデジタル出力します。 ● 著作権保護の処理がされていない DVD の場合は、そのまま出力されることがあります。 **2 する** ● 96 kHz、48 kHz で記録された信号をすべて 48 kHz/16 bit で出力します。（これは著作権保護のためです。） ● アナログ出力の信号も同様に変換されます。	**1 Bitstream（工場出荷時）** 本機のデジタル端子と、ドルビーデジタルデコーダー（またはデコーダー内蔵アンプ）を接続するとき **2 PCM** デコーダーを持たないデジタルアンプや、デジタル録音機器と接続するとき	**1 PCM（工場出荷時）** デコーダーを持たないデジタルアンプや、デジタル録音機器と接続するとき **2 Bitstream** 本機のデジタル端子と、dts デコーダー（またはデコーダー内蔵のアンプ）を接続するとき

＊ PCM 出力のとき、DVD オーディオではすべての信号をダウンサンプリング変換して出力します。

デジタル出力設定についての補足

- 192 kHz や 96 kHz の高音質を楽しむ場合は、再生用にデジタル端子を使わず、5.1 ch の音声出力端子にアンプを直接接続するのが基本です。この場合は、PCM ダウンサンプリング変換を必ず “ しない ” に設定してください。
- デコーダーを持たない機器にデジタル接続する場合は、Dolby Digital や DTS Digital Surround を必ず “ PCM ” にしてください。“ Bitstream ” だと耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

■ 1 つ手前のメニューに戻るには

［RETURN］を押す。
変更した内容は無効になります。

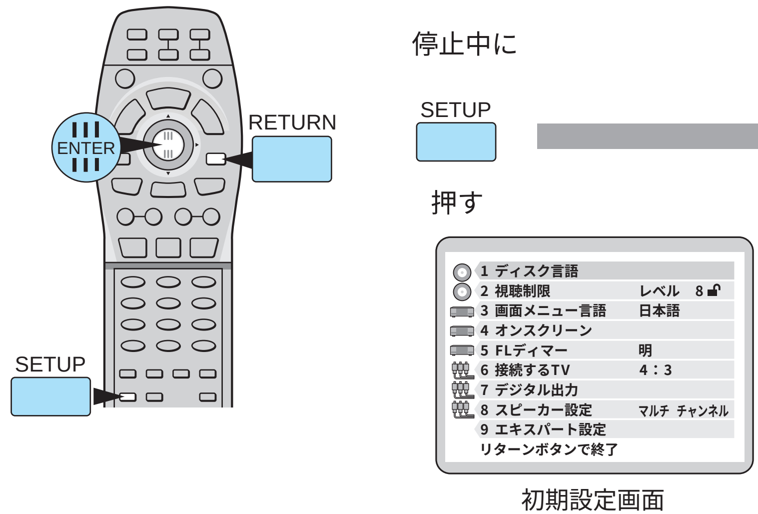
■ 初期設定画面を消すには

元の画面に戻るまで［RETURN］を何度か押す。

スピーカーの設定

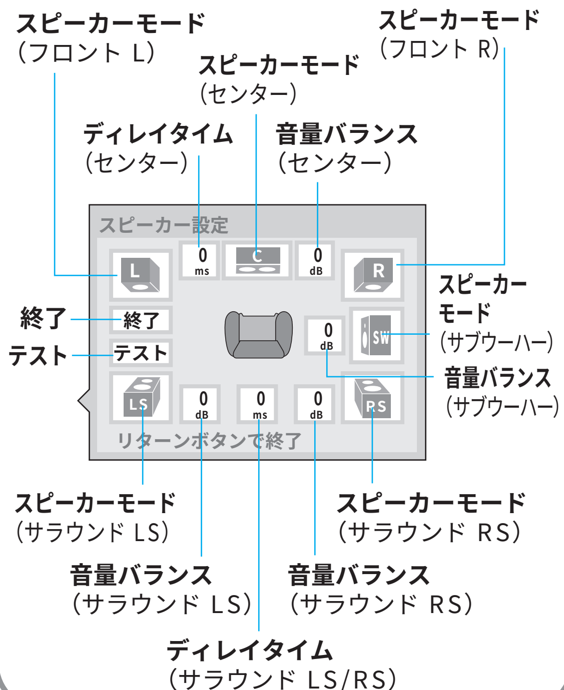
接続したスピーカーシステムに合わせて、以下の設定を行ってください。

- **スピーカーモード**
  スピーカーのサイズと有無を設定します。(有無を正確に設定しないと、そのチャンネルの音が出なくなります。)
- **ディレイタイム(遅延時間)**
  視聴位置と各スピーカーとの距離のバラツキを補正します。
- **テスト**
  各スピーカーの音量バランスを調整します。



初期設定画面

スピーカー設定画面



項目	スピーカーモード
内容	<u>下線は工場出荷時の設定です。</u> ラージ/スモールは、100 Hz 以下が再生できる(ラージ)か、再生できない(スモール)かを目安に選んでください。 **フロントスピーカー(L/R)** <u>あり(ラージ)</u> あり (スモール) **センタースピーカー** <u>あり(ラージ)</u> あり(スモール) なし **サブウーハー** <u>あり</u> なし **サラウンドスピーカー(LS/RS)** <u>あり(ラージ)</u> あり(スモール) なし 表示例 (サラウンド LS の場合) ● あり(ラージ) LS ● あり(スモール) LS ● なし **お願い** サブウーハーを「なし」にする場合は、100 Hz 以下が再生できるフロントスピーカーをお勧めします。

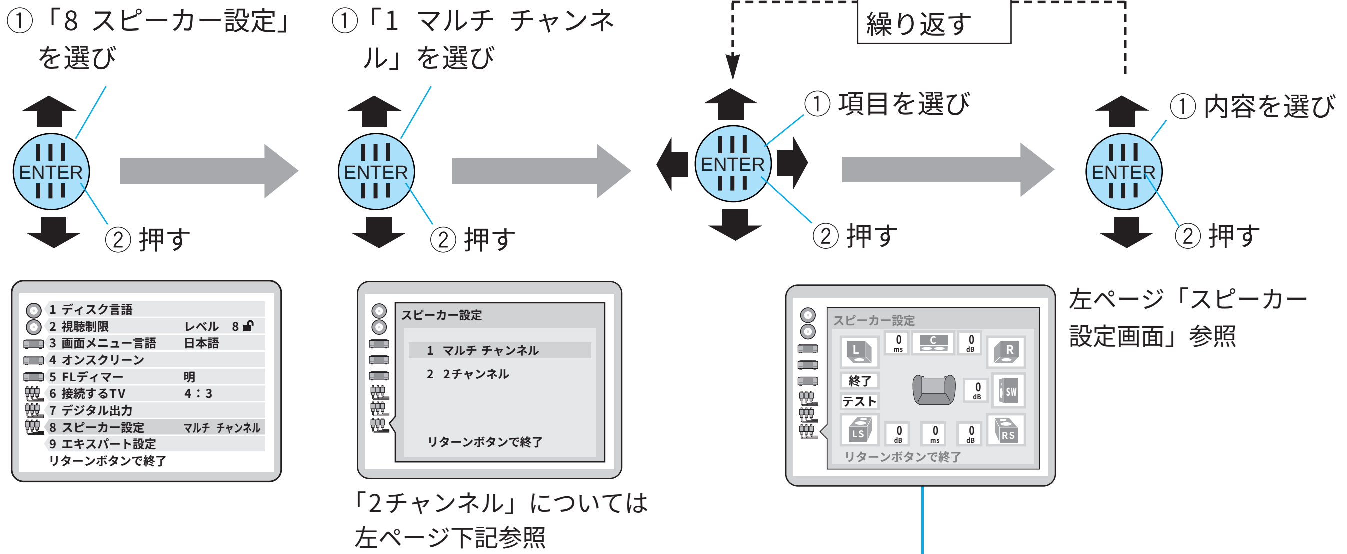
お知らせ

DVD オーディオの場合、ソフト側の設定が優先され上記のスピーカーモード設定通りに音が出ないことがあります。(本体表示窓で " P. PCM " が点灯、または " D. MIX " が消灯状態になります。)

■「2チャンネル」を選ぶ場合

音声コードを、5.1 ch音声出力端子のフロント左右だけに接続している場合に選んでください。(ジョイスティックを押すと決定し、最初の設定画面に戻ります。)

アンプ（またはデコーダー）にオプティカルデジタルケーブルか同軸ケーブルで接続している場合は、スピーカー設定はアンプ（またはデコーダー）側で行ってください。

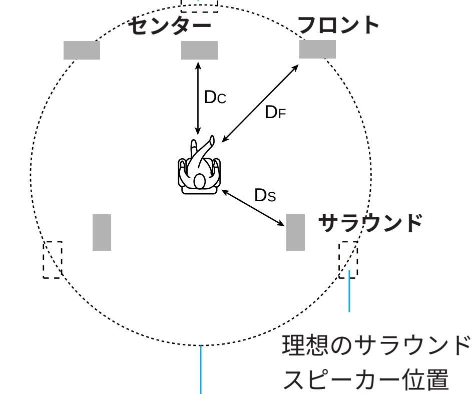


「2チャンネル」については左ページ下記参照

左ページ「スピーカー設定画面」参照

ディレイタイム

5.1 ch サラウンドサウンドは、視聴位置と、サブウーハーを除くすべてのスピーカーとの距離が同じであることが理想とされています。
ディレイタイムは、センタースピーカーとサラウンドスピーカーから音が出る時間を遅らせることで、距離のずれを補正し、全スピーカーの音が同じタイミングで視聴位置まで届くようにします。（dts および DVD オーディオは調整できません。）



すべてのスピーカーは、この円の内側に配置してください。

● **センタースピーカー**
左図の距離 D_F が D_C より短いか、もしくは等しい場合は、0 ms にします。

距離 D_F-D_C	設定値
約 50 cm	1.3 ms
約 100 cm	2.6 ms
約 150 cm	3.9 ms
約 200 cm	5.3 ms

● **サラウンドスピーカー**
左図の距離 D_F と D_S が等しい場合は、0 ms にします。

距離 D_F-D_S	設定値
約 200 cm	5.3 ms
約 400 cm	10.6 ms
約 600 cm	15.9 ms

初期設定値は、いずれも 0 ms です。

テスト（音量バランスの調整）

「テスト」を選ぶと、フロントスピーカー（L）から時計回りに、ザーというテスト信号が出てきます。

フロント（L）→ センター → フロント（R）
↑　　　　　　　　　↓
サラウンド（LS）　←　サラウンド（RS）

フロントスピーカーの音量に合わせ、他のスピーカーを同じ音量に調整してください。（フロントスピーカーは調整できません。また、サブウーハーからは信号がでません。）

音量を調整するには
調整したいスピーカーからテスト信号が出ているときに、ジョイスティックを上下に動かします。（調整中は、信号が他のスピーカーに移動することはありません。）

テスト信号を止めるには
ジョイスティックを押します。

サブウーハーの音量を調整するには
実際の音を聞いた後、スピーカー設定画面（左ページ）でサブウーハーの音量バランスを選んで調整してください。

■ 1 つ手前のメニューに戻るには
［RETURN］を押す。
変更した内容は無効になります。

■ スピーカーの設定を終了するには
“ 終了 ” を選んでジョイスティックを押す。

■ 初期設定画面を消すには
元の画面に戻るまで［RETURN］を何度か押す。

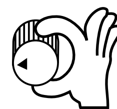
初期設定一覧表

ここでは、再生操作の前にあらかじめ設定しておける内容（初期設定）を一覧表にしています。
くわしくは各ページをご覧ください。（下線は工場出荷時の設定です。）

設定メニュー	項目と内容			ページ
1　ディスク言語	音声言語		日本語／英語／オリジナル／その他	32
	字幕言語		オート／日本語／英語／その他	
	メニュー言語		日本語／英語／その他	
2　視聴制限	8 すべて視聴可／7／6／5／4／3／2／1／0 すべて不可			34
3　画面メニュー言語	日本語／English			36
4　オンスクリーン	画面メッセージ		入／切	36
	色と位置		青色／紫色／緑色／青色（やや下）／紫色（やや下）／緑色（やや下）	
5　FL ディマー	常時 明／常時 暗／DVD VCD 再生時 暗（オート）／再生時 切（オート）			36
6　接続する TV	4：3		標準（ブラウン管テレビ）／3 管式プロジェクター／液晶プロジェクター／プロジェクションテレビ	9
	16：9		標準（ブラウン管テレビ）／3 管式プロジェクター／液晶プロジェクター／プロジェクションテレビ	
7　デジタル出力	PCM ダウンサンプリング 変換		しない／する	44
	Dolby Digital		Bitstream／PCM	
	DTS Digital Surround		PCM／Bitstream	
8　スピーカー設定	マルチチャンネル	スピーカーモード	フロント（L/R）：あり（ラージ）／あり（スモール） センター：あり（ラージ）／あり（スモール）／なし サブウーハー：あり／なし サラウンド（LS/RS）：あり（ラージ）／あり（スモール）／なし	46
		ディレイタイム	センター：0／1.3／2.6／3.9／5.3 ms サラウンド：0／5.3／10.6／15.9 ms	
		チャンネルバランス	全チャンネル：0／±6 dB	
	2チャンネル			
9　エキスパート設定	スチルモード		オート／フィールド／フレーム	38
	早送り時の音声		あり／なし	
	TV モード（4：3）		パン ＆ スキャン／レターボックス	
	音声のダイナミックレンジ圧縮		切／入	
	RE-MASTER		入／切	
	I/P/B インジケーター		しない／する	
	S 端子出力 S1／S2 のモード		S1／S2	
	DVD ビデオモード		しない／する	

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

テレビ画面一覧表

テレビに映し出される映像は、ソフトとテレビ（や画質モード）との関係で以下の画面になります。

テレビ（画質モード）／ソフト	4：3	16：9（フルモード）	16：9（ズームモード）	16：9（オートモード）
ワイドソフト（パン＆スキャン指定あり）	左右が切れた画面	フル画面	上下が切れた画面	フル画面
ワイドソフト（パン＆スキャン指定なし）	レターボックス（上下に黒い帯）			
4：3 ソフト	フル画面	左右にのびた画面	上下が切れた画面	フル画面（左右に黒い帯）
4：3 ソフト（レターボックス）	レターボックス（上下に黒い帯）	左右にのびた画面（上下に黒い帯）	フル画面	左右両端がのびた画面（上下に黒い帯）

- ソフトや画質モードの呼びかたはメーカーにより異なる場合があります。
- パン＆スキャンとは、ワイドソフトの両側（または片側）をカットしてテレビ画面全体に映し出すことです。

言語番号一覧表

6565：アファル
6566：アブハジア
6570：アフリカーンス
6577：アムハラ
6582：アラビア
6583：アッサム
6588：アイマラ
6590：アゼルバイジャン
6665：バシキール
6669：ベロルシア（白ロシア）
6671：ブルガリア
6672：ビハール
6678：ベンガル（バングラ）
6679：チベット
6682：ブルターニュ
6765：カタロニア
6779：コルシカ
6783：チェコ
6789：ウェールズ
6865：デンマーク
6869：ドイツ
6890：ブータン
6976：ギリシャ
6978：英語
6979：エスペラント
6983：スペイン
6984：エストニア
6985：バスク
7065：ペルシャ
7073：フィンランド
7074：フィジー
7079：フェロー
7082：フランス
7089：フリジア
7165：アイルランド
7168：（スコットランド）ゲール
7176：ガリチア
7178：グアラニー
7185：グジャラト
7265：ハウサ
7273：ヒンディー
7282：クロアチア
7285：ハンガリー
7289：アルメニア
7365：インターリングア
7378：インドネシア
7383：アイスランド
7384：イタリア
7387：ヘブライ
7465：日本語
7473：イディッシュ
7487：ジャワ
7565：グルジア
7575：カザフ
7576：グリーンランド
7577：カンボジア
7578：カンナダ
7579：韓国（朝鮮）語
7583：カシミール
7585：クルド
7589：キルギス
7665：ラテン
7678：リンガラ
7679：ラオ
7684：リトアニア
7686：ラトビア（レット）
7771：マダガスカル
7773：マオリ
7775：マケドニア
7776：マラヤーラム
7778：モンゴル
7779：モルダビア
7782：マラッタ
7783：マライ（マレー）
7784：マルタ
7789：ビルマ
7865：ナウル
7869：ネパール
7876：オランダ
7879：ノルウェー
7982：オーリヤ
8065：パンジャブ
8076：ポーランド
8083：パシュト
8084：ポルトガル
8185：ケチュア
8277：レトロマンス
8279：ルーマニア
8285：ロシア
8365：サンスクリット
8368：シンド
8372：セルボクロアチア
8373：シンハラ
8375：スロバキア
8376：スロベニア
8377：サモア
8378：ショナ
8379：ソマリ
8381：アルバニア
8382：セルビア
8385：スンダ
8386：スウェーデン
8387：スワヒリ
8465：タミル
8469：テルグ
8471：タジク
8472：タイ
8473：ティグリニア
8475：トルクメン
8476：タガログ
8479：トンガ
8482：トルコ
8484：タタール
8487：トウイ
8575：ウクライナ
8582：ウルドゥー
8590：ウズベク
8673：ベトナム
8679：ヴォラピュック
8779：ウォロフ
8872：コーサ
8979：ヨルバ
9072：中国語
9085：ズールー

各部のなまえと表示

本体

POWER（電源）ボタン・スタンバイランプ（⏻）
電源入／切の切り換え（⇒ 9 ページ）
「切」のときスタンバイランプが点灯します。
（スタンバイとは、電源切り後もメモリー保持などのために微量の電力消費が行われている状態をいいます。）

▲（トレイ開閉）ボタン（⇒ 11 ページ）

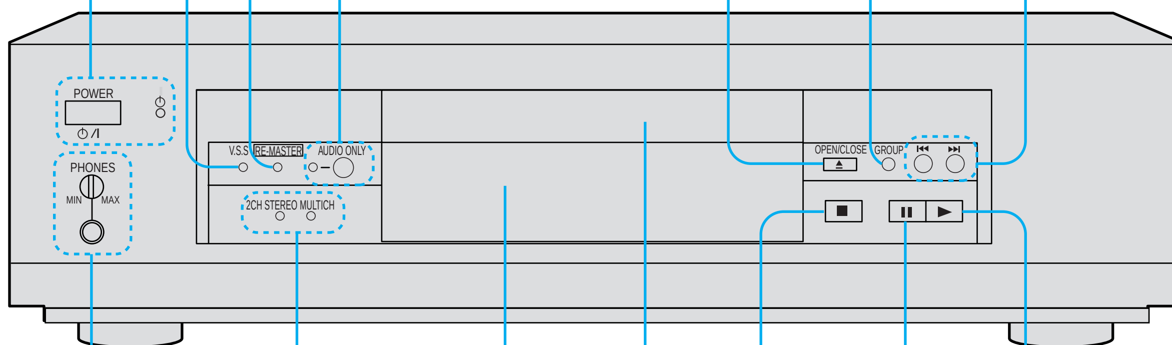
V.S.S. ランプ
バーチャル・サラウンド・サウンドモードのとき点灯
（⇒ 18 ページ）

GROUP 選択ボタン
DVD オーディオのグループを選択
（⇒ 11 ページ）

RE-MASTER ランプ
Re-master 回路が働いているとき点灯
（⇒ 10 ページ）

⏮◀◀／◀◀ ▶▶／▶▶⏭
（スキップ／サーチ）ボタン
トラック／チャプターのスキップとサーチ
（⇒ 14 ページ）

AUDIO ONLY（音声のみ）ボタン・ランプ
映像信号出力を停止
（⇒ 11 ページ）



PHONES（ヘッドホンレベル）調整つまみ・端子
（⇒ 17 ページ）

表示窓

ディスクトレイ
（⇒ 10 ページ）

■（停止）ボタン（⇒ 11 ページ）

音声チャンネルランプ
MULTI CH：信号が 3 ch 以上のとき点灯
2CH STEREO：信号が 2 ch のとき点灯
（⇒ 10 ページ）

❚❚（一時停止）ボタン
（⇒ 14 ページ）

▶（再生）ボタン（⇒ 11 ページ）

リモコン

電源ボタン
電源の入／切 の切り換え
本体がスタンバイ状態のとき行えます。

トップメニュー表示ボタン
(⇒ 19 ページ)

ジョイスティック
さまざまな選択・決定操作

マーカーボタン (⇒ 26 ページ)

字幕言語選択ボタン (⇒ 21 ページ)

⏮◀◀ ▶▶⏭ (スキップ) ボタン (⇒ 14 ページ)

■ (停止) ボタン (⇒ 11 ページ)

❚❚ (一時停止) ボタン (⇒ 14 ページ)

グループ選択ボタン (⇒ 11 ページ)

取消しボタン (⇒ 16 ページ)

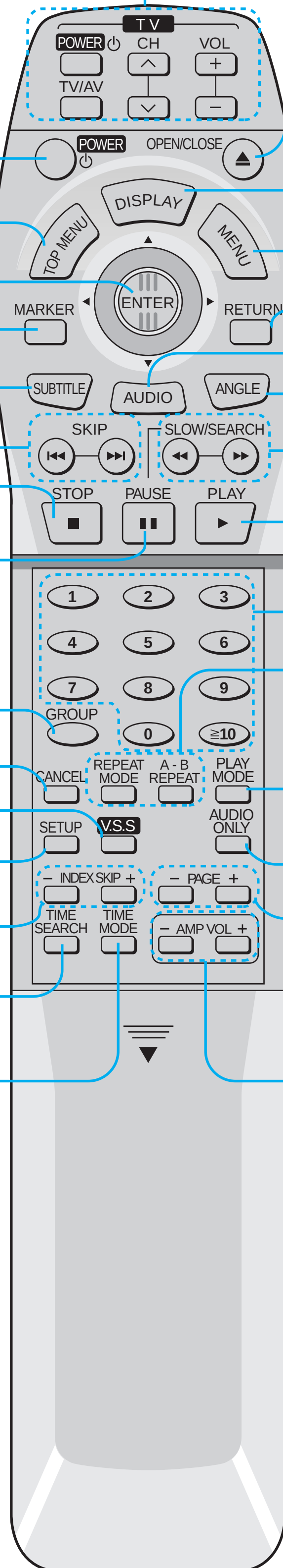
バーチャルサラウンドサウンドボタン (⇒ 18 ページ)

初期設定ボタン (⇒ 9 ページ)

インデックススキップボタン (⇒ 15 ページ)

タイムサーチボタン (⇒ 17 ページ)

時間表示切換ボタン
(⇒ 17 ページ)



テレビ操作部 (⇒ 27 ページ)

▲ (トレイ開閉) ボタン
(⇒ 11 ページ)

GUI 画面表示ボタン (⇒ 28 ページ)

メニュー表示ボタン (⇒ 19 ページ)

前メニュー表示ボタン (⇒ 9 ページ)

音声選択ボタン (⇒ 20 ページ)

アングル選択ボタン (⇒ 21 ページ)

◀◀ ▶▶ スロー／サーチボタン
(⇒ 14、15 ページ)

▶ (再生) ボタン (⇒ 11 ページ)

数字ボタン (⇒ 13 ページ)

リピート・A-B リピートボタン
(⇒ 24、25 ページ)

再生モード選択ボタン
(⇒ 11、22、23 ページ)

音声のみ出力ボタン (⇒ 11 ページ)

ページスキップボタン (⇒ 15 ページ)

アンプ音量調整ボタン (⇒ 27 ページ)

表示窓

再生モード表示
PGM：プログラム再生
RND：ランダム再生
：リピート再生
A-B ：A-B リピート再生

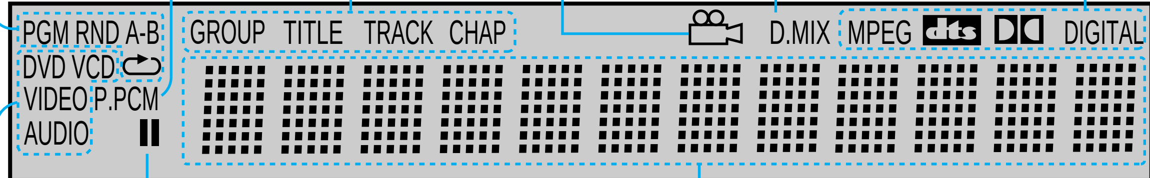
P.PCM 表示
Packed PCM 信号が入ると点灯

メイン表示部の表示モード
GROUP：グループ表示モード
TITLE：タイトル表示モード
TRACK：トラック表示モード
CHAP：チャプター表示モード

音声信号タイプ表示
DIGITAL：ドルビーデジタル信号
：DTS 信号
MPEG：MPEG 信号

マルチアングル表示
アングル切り換えができるとき点灯

ダウンミックス表示
DVD オーディオの音声信号をダウンミックス（多ch 信号を 2 ch に集約）できるとき点灯



一時停止（静止）表示

メイン表示部
再生時間やトラック番号など。また各種メッセージを表示。
メッセージの例

No Disc	ディスクが入っていないとき
No Play	再生できないとき ●視聴制限をしている DVD ●リージョン番号が、2、ALL 以外の DVD ビデオ ●PAL 方式の DVD ビデオ／ビデオ CD

ディスク表示
DVD AUDIO：DVD オーディオ
DVD VIDEO：DVD ビデオ
VCD：ビデオ CD
CD：音楽 CD

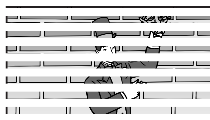
用語解説

映像についての用語

フレーム
動画の 1 コマ 1 コマのこと。
たとえばテレビでは、1 秒間に 30 コマ（静止画像）を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。



フィールド
1 フレームの映像情報を 2 つに分けたもの。
通常のテレビでは、このフィールドを順次に映し出すことで 1 フレームを構成しています。


1 フィールド

フレームスチル／フィールドスチル
動画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。
フレームスチルでは、2 フィールドを交互に映し続けるため画面にブレを生じますが、画質はよくなります。
フィールドスチルでは、映像情報が半分のため画質が荒くなりますが、画面のブレはありません。

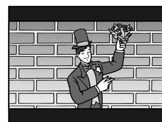
I/P/B
DVD で採用されている映像方式 MPEG2 では、1 画面（フレーム）を、以下の 3 つのピクチャータイプに分け、デジタル信号に符号化しています。
I：I-Picture（フレーム内符号化）
基準の画面であり、単独で画面を構成します。画質がもっとも良く、画像調整する場合はこの静止画面が適しています。
P：P-Picture（前方向予測符号化）
過去の Picture（I または P）から算出される画面。
B：B-Picture（両方向予測符号化）
前後の Picture（I または P）の比較から算出されるもので、画像情報がもっとも少ない画面です。

S1 映像信号
4：3 に圧縮されたワイドソフトを自動的に 16：9 のサイズに戻して映します。





S2 映像信号
S1 の機能に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。





デジタル音声についての用語

デコーダー
DVD などに符号化して記録した音声データを、通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声記録方式。圧縮率が高く、1 枚のディスクに大量のデータを収録できます。

DTS Digital Surround
DTS 社が開発したデジタル音声記録方式。音質を重視し、圧縮率を低くしています。

サンプリング周波数
サンプリングとは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間間隔で細かく刻み、1 つ 1 つの波の高さを数値化すること。1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、これが多いほど元の音を精密に再現できます。

リニア PCM（Pulse Code Modulation）
音楽 CD などで一般に使用されているデジタル信号方式。DVD ディスクは容量が多いため、CD 以上のサンプリング周波数を用いた リニア PCM 信号を収録することができます。
また、この信号をコンパクトにしたものをパックド PCM といいます。

Bitstream（ビットストリーム）
5.1 ch などの音声データを各チャンネルにデコードする前のデジタル信号。

その他の用語

トラック
DVD オーディオ、CD、ビデオ CD の小さな区切り。

インデックス
DVD オーディオのトラックをさらに区切った場合の単位。

チャプター
DVD ビデオの小さな区切り。CD などのトラックに当たります。

グループ
DVD オーディオでは、収録されているトラックをいくつかのグループに分けています。グループのしかたはディスクによって異なります。

タイトル
DVD ビデオの一番大きな区切り。

プレイバックコントロール（PBC）
バージョン 2.0 のビデオ CD で使われている再生方式。メニューを選びながら再生するなど、対話形式で操作できます。

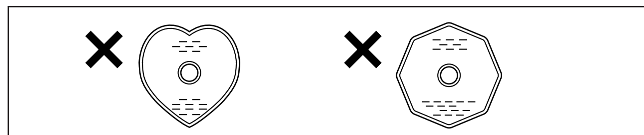
使用上のお願い/お手入れ

ディスクについて

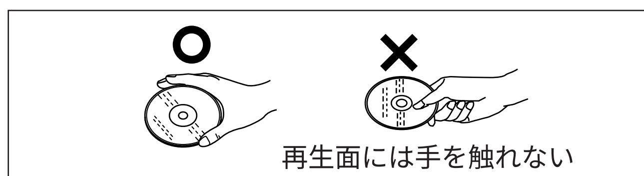


のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型や八角形など、特殊形状のディスクはご使用にならないでください。
（機器の故障の原因になります。）

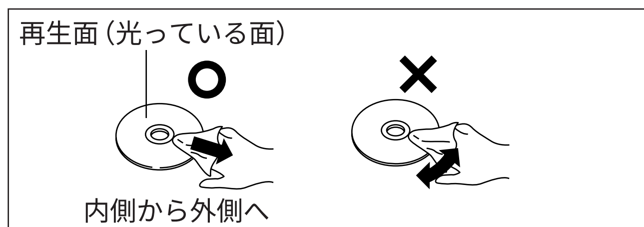


■ **持ちかた**



■ **汚れたときは**

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。



■ **露がついたら**

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

取扱い上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど当社指定以外の市販品は使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスクは使わない

ディスクの保管

■ **次のような場所に置かない**

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

本機のお手入れ

■ **本機が汚れたら**

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

本機を移動するときは

1. ディスクをすべて取り出す
2. [POWER] を押して電源を切る
3. 電源プラグを抜く

ディスクのメカの故障防止について

- トレイには、1 枚のディスクを入れる
- ディスクは正しく置く
- シングルディスク（8 cm ディスク）アダプターを使わない
- 水平なところで使用する。本機の下に雑誌などを置いて、傾けて使用しないでください
- トレイが動いている間や、ディスクを入れたまま本機を移動しない
- トレイにディスク以外のものを入れない
- クリーニングディスク、そりの大きなディスク、割れたりヒビの入っているディスクを使わない

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権により保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

Q ＆ A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
共通	マイクを接続できるか	・本機には接続できません。	
共通	スピーカーを直接つなげるか	・本機には接続できません。	
共通	引っ越しても使えるか	・東日本、西日本に関係なく使えます。（電源の周波数は自動的に切り換わります。）	
共通	海外でも使えるか	・本機は日本国内専用です。海外では電源電圧などが異なるため使用できません。	
DVD	外国で買った DVD ビデオは再生できるか	・リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいて、NTSC 方式であれば再生できます。	6
DVD	ビデオで録画できるか	・ほとんどの DVD ディスクはコピー禁止処理がされており、録画できません。	
DVD	デジタル録音できるか	・192 kHz や 96 kHz の信号はそのままではデジタル録音できませんが、48 kHz に変換することで行えるようになります。ただし曲によってはデジタル録音を完全に禁止している場合もあります。	44
DVD	リージョン番号がないディスクは再生できるか	・DVD オーディオにリージョン番号はありません。DVD ビデオのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表わしています。規格を満たしていない DVD ビデオは再生できません。	6
DVD	スポットライト機能やリアルタイムテキスト機能は使えるか	・本機では対応していません。	
DVD	テレビやビデオなどに比べて音が小さいが	・5.1 ch の音声信号はダイナミックレンジ（音量大小の幅）が広いため、一般的には小さく聞こえます。	10
その他のディスク	外国で買ったビデオ CD は再生できるか	・NTSC 方式であれば再生できます。	6
その他のディスク	CD-R は再生できるか	・再生できません。その他も不明な場合は、ディスクのロゴをご確認ください。	6

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなとき	ここを確認・処置してください	参照ページ
共通	勝手に電源が切れる。	・節電のため、停止状態が 30 分続くと自動的にスタンバイ状態になります。再度電源を入れてください。	
共通	再生ボタンを押しても、再生が始まらない。またはすぐに止まる。	・露付きが発生していませんか。（2〜3 時間放置してください。） ・DVD、ビデオ CD、音楽 CD 以外のディスクを入れてませんか。 ・ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ・ラベル面を上にして正しく入れてください。	6 54 10
共通	映像が映らない。または画面サイズがおかしい。	・テレビの入力切換を確認してください。 ・接続とテレビの設定を確認してください。 ・本体表示窓に“ PAL Disc Audio only ”が出ている場合は、PAL 方式の DVD オーディオが入っています。（音声のみ再生可能です。）	8、9
共通	音が出ない。または音がおかしい。	・接続と音声の設定を確認してください。 ・DVD オーディオの多チャンネル再生時に、本体ディスプレイの“ D. MIX ”表示が消灯しているときは、ディスク側が指定したスピーカー接続でないと正常に再生できません。 ・V.S.S. を切り換えるか、または“ 切 ”にしてください。 ・本体表示窓に“ Error Track ”が表示されている場合は、規格違反の DVD オーディオトラックを再生しています。 ・オーディオオンリー機能をオンしたとき、テレビによっては映像が映らなくなるだけでなく、音も出なくなる場合があります。	40 46、52 18
共通	ボタン操作ができない。	・ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。 ・まったく動作しない場合は、本体の電源ボタンを一度入／切してみてください。落雷や静電気などの影響で、正常に動作しなくなる場合があります。	
共通	画面メッセージが出ない。	・オンスクリーン設定の「画面メッセージ」を“ 入 ”にしてください。	36
共通	GUI 画面の表示が切れる。	・オンスクリーン設定の「色と位置」で、GUI 画面の位置を変更してください。	36
共通	表示部が暗い。または表示が出ない。	・FL ディマー設定で明るさを切り換えてください。	36
共通	早送り／早戻しをすると画像が乱れる。オーディオオンリーを解除したとき一瞬画面が揺れる。	・多少乱れることがありますが、故障ではありません。	
共通	ラジオ電波による雑音や、テレビ画面に障害が出る。	・本機とラジオやテレビとの距離を離したり、使っていない機器の電源を切ってください。ラジオやテレビで室内アンテナを使用している場合は室外アンテナに替えるのも一つの方法です。	

	こんなとき	ここを確認・処置してください	参照ページ
DVD	タイトルを選んでも、再生が始まらない。	・視聴制限が設定されていると、再生できないタイトルもあります。	34
	字幕が出ない。	・DVD に字幕が記録されていません。 ・GUI 設定で字幕が“切”になっている場合は“入”にしてください。	30
	音声言語や字幕言語が切り換えられない。	・DVD に複数の言語が入っていません。 ・リモコンの［AUDIO］［SUBTITLE］ボタンではなく、メニューでのみ切り換えられるタイプの DVD もあります。	
	アングルを切り換えられない。	・マルチアングルの DVD でも、それが記録された場所以外では切り換わりません。（本機の表示窓に“ ”が点灯します。また多くの場合は、テレビ画面にマルチアングルの表示が出ます。）	21
	あらかじめ設定した音声言語や字幕言語にならない。	・DVD にその言語が記録されていません。	
	視聴制限したときの暗証番号を忘れた。 初期設定をすべて工場出荷時の状態にもどしたい。	・以下の操作を行うと本機が工場出荷時の状態に戻り、視聴制限なども解除することができます。 停止状態で本体の［⏮／⏪］［⏸］［⏏］の 3 つのボタンを、同時に 3 秒以上押してください。（テレビ画面に“オールクリア”表示が出て、初期状態に戻ると消えます。）	
リモコン	リモコンが働かない。	・本体の電源が切れている場合は入れてください。 ・乾電池の向き（＋、－）を確認してください。 ・テレビが動作しない場合は、メーカー番号を切り換えてください。（ただし、モデルによっては対応していないものもあります。）	7 27
異常表示	“Check Disc”が表示された。	・ディスクが汚れているので、きれいにふいてください。 表示が消えない場合は、修理を依頼してください。	54
	“H □□”が表示された。（□は数字です。異常の状態によって異なります。）	・本機の電源を一度入/切してみてください。 表示が消えない場合は、修理を依頼してください。	

修理を依頼するときは

● お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」にご依頼ください。（⇒ 59 ページ）
● 異常表示が出ている場合は、その表示（サービス番号）をお知らせください。（例：サービス番号“H01”）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
●その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■ 修理を依頼されるとき

56～57ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、DVD オーディオ／ビデオプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物のご相談は

ナショナル／パナソニック
お 客 様 ご 相 談 セ ン タ ー

フリーダイヤル（料金無料）  **0120-878-365**（パナは 365日）

365日／受付9時～20時



Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087-087（パナ・パナ）



●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南/内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(0734)75-1311
兵庫	神戸市中央区琴/緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0500

主な仕様

電源	AC 100 V　50/60 Hz
消費電力	22 W (電源「スタンバイ」時 約 1.5 W)

TV 形式	NTSC	
質量	8.6 kg	
外形寸法	430 (幅) × 275 (奥行き) × 125 (高さ) mm 突起物含まず	
許容周囲温度	+ 5 ～ 35 ℃	
許容相対湿度	5 ～ 90 % RH (結露なきこと)	
対応ディスク	(1) DVD-Audio／DVD-Video 12 cm 片面 1 層、12 cm 片面 2 層 12 cm 両面 (各面 1 層)、 8 cm 片面 1 層、8 cm 片面 2 層 (2) コンパクトディスク (含むビデオ CD) 12 cm ディスク、8 cm ディスク	
コンポーネント映像出力	出力端子	：ピンジャック (Y：緑、CB：青、CR：赤)
S 映像出力	Y 出力レベル C 出力レベル	：1 Vp-p (75 Ω) ：0.286 Vp-p (75 Ω)
	出力端子	：S 端子
	端子数	：2 系統
映像出力	出力レベル	：1 Vp-p (75 Ω)
	S／N	：65 dB 以上
	出力端子	：ピンジャック
	端子数	：2 系統
音声出力	出力レベル (−20 dB)	：200 mVrms (1 kHz、10 kΩ)
	出力端子	：ピンジャック
	端子数： 2 ch ミックス出力 ：2 系統 5.1 ch ディスクリート出力 (5.1 ch)：1 系統	

音声出力特性	(1) 周波数特性 2 Hz～88 kHz (DVD-Audio) 2 Hz～44 kHz (DVD-Video) 2 Hz～20 kHz (CD) [EIAJ] (2) S／N (EIAJ) 115 dB (CD) (3) ダイナミックレンジ 108 dB (DVD-Audio リニア音声) 100 dB (CD) [EIAJ] (4) ひずみ率 0.0012 % (DVD、LPCM) 0.0017 % (CD) [EIAJ]	
デジタル音声出力	出力端子 光デジタル出力 同軸デジタル出力	 ：光コネクター ：1 系統
ヘッドホン端子	出力端子 出力レベル (−20 dB)	：ステレオ標準タイプ ：180 mVrms (1 kHz、10 kΩ)

本製品のデザイン、仕様は改善等のため予告なしに変更することがあります。

本機は日本国内専用です。海外では電源電圧や TV 形式が異なるため使用できません。

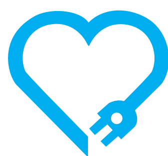
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

愛情点検

長年ご使用の「DVD オーディオ／ビデオプレーヤー」の点検を!



こんな症状はありませんか

- 再生しても音声や映像が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- ディスクが傷ついたり、取り出しができない
- 本体やテレビ画面の表示が出ない
- その他の異常や故障がある



このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎ (　　) −	**お買い上げ日**	年　月　日
お客様ご相談窓口	☎ (　　) −	**品番**	DVD-A10

松下電器産業株式会社　デジタル AV ネットワーク事業部
〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

VQT8357

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）2000
Printed in Japan

H0600SG0